京城日報
十四日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）
京城太平町通一丁目 京城日報社

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（廿三）

▲本會議 ―十四日より續く―

午後一時半開會高木兼寛男登壇、國民衛生に就て悲觀的論旨を進めて政府の所見を問ふ之れに對して

▼寺内首相 國民の保健に就ては政府も十分考慮し優良なる衛生狀態を將來すべく種々の施設を爲し居れり

▼岡田文相 教育の實際に伴はざる缺點は各學校學級の設備等に缺陷ある爲めなりとし此缺點を補ふ爲めに教育會議の要部となり既に其幾分は豫算に計上し又洋風校舍の衛生上に及ぼす影響に就ては勗めて調和を圖り以て遺憾なきを期せんとす

▼仲小路農相 亦衣食材料の需給に就て答辯し平時は兎も角一朝有事の際に於ける需給に就ては政府も大なる考慮を要せり、殊に食物の供給不足に就ては土地利用法を講じて開拓すべきものは努めて開拓せんとし又一方消費の節約を計り以て需給の途を講じ居れり、次いで

▼若槻禮二郎氏 衆議院に於て海軍の補充費が歳入に不足を生じ歳出にも缺陷を生じたる如きも歳出に於て海軍補充費が八年度より漸次增加するにあらずや衆議院に於ける修正案に對し政府は直ちに是れに同意を與へたる如し右に對する政府の所見如何

▼勝田藏相 歳入に缺陷を生じたる爲め豫備金二百萬圓を減少して歳出との均衡を保持するを得たり倘又今後に於ける自然增收の豫想も具體的に言明する能はざるも左程杞憂する程にあらざるべく海軍補充に就ては新に大正十年度より計畫に着手すべく言明し置きたり

▼若槻禮二郎氏 海軍補充費の財源に就ては本員は其所見を異にす、大藏大臣は自然增收を財源に充當し居るも歴代内閣にて之れを試みたるは一回にて其後は全然之れを止めたり而して歳入不足に對する方法は二百五十萬圓を以て八年度以降に處理する事なるも是れも餘り明白ならざるが如し

▼勝田藏相 大正七年度歳入缺陷は御承知の如し其後の計畫は剩餘金を以て埋め合はす考へなり

▼若槻氏 剩餘金とは既定の金額なりや否や

▼勝田藏相 既に生じたる剩餘金なり

▼柳澤保惠伯 學校衛生に關する内相の所見如何

▼後藤内相 高木男の意見と略同樣なるも其全體に同意すと云ふにあらず

此の外渡田健則氏の動議により豫算審査の期限は三月五日と決す、斯くて酒造税法中改正法律案、酒精及び酒精含有飲料税法中改正法律案、麥酒税法中改正法律案、戰時利得税案の增税案を一括して第一讀會に附し

▼勝田藏相 本案は國防充實の財源として計畫し衆議院に提出したるに種々の意見あり審議の結果政府は衆議院の修正意見に同意したりとて各税目に關し衆議院の修正に同意せる旨を説明す（政府の之れに同意せる…）

（翻譯記者以下朝刊に續く）

○外交官追放 過激派政府對聯合國

ストツクホルム來電＝露國過激派政府は聯合國より派遣せる外交官全部をペトログラードより追放せり（倫敦電報）

○外債廢棄公文發表 短期公債大藏證券のみ効力を有す

過激派政府は一月二十五日附を以て外債を廢棄する旨の公文を發表せり之に依れば政府は有ゆる種類の外債を廢棄し唯短期公債大藏證券のみ依然として効力を有し紙幣同樣に融通するものなる事を聲明せり（哈爾賓電報）

○米大統領 兩相所論痛撃

米國大統領ウヰルソン氏は議會に於て獨墺兩相の演説を評し彼等の所論に痛撃を加へたり（桑港電報）

東京より 在京一記者

世界思潮の大勢と我が日本帝國（三）

○英米の民主々義と獨逸の軍國主義とが氷炭相容るゝ能はざるや此の如し、然らば則ち英米諸國の聯合國は果して純乎たる民主々義、自由主義、民族主義を實行せんとする乎、果して民主々義を以て軍國主義若くは帝國主義を絶對的に撲滅するを得べき乎、是れ實に疑問中の疑問なりと謂はざる可らず

○抑も英米佛聯合國の聲明し主張せる民主々義なるものは果して純乎民主々義なる乎。彼等の所謂民主々義は果して軍國主義若くは帝國主義と兩立せざる民主々義なる乎。而かも大戰以來、英米佛聯合國の戰時政策を察するに、彼等は頻に民主々義、自由主義、民族主義の名に於て、軍國主義若くは帝國主義の實を行ふもの也。彼等は民族主義を高唱しつゝありと雖も其の實行する所は、一として軍國主義、帝國主義、統一主義の施設に非ざるは無ければ也。

○英國が政黨内閣の本家本元なるに拘らず、大戰以來却て政黨主義を一擲しロイドジョージ氏の統率の下に擧國一致の内閣軍事内閣を

○然らば則ち英米聯合國は何故に民主々義を高唱しつゝある乎、日く民主々義を聲明するに非ざれば世界の同情を博し國民の精神を鼓舞作興せしむるに足らざれば也、何故に民主々義の名の下に軍國主義の實を斷行しつゝある乎、日く軍國主義を斷行するに非ざれば獨逸の所謂軍國主義に抗し戰爭の目的を貫徹すること能はざれば也。

○然れども同じく是れ軍國主義と云ふも獨逸の軍國主義は侵略的にして英米聯合國の軍國主義は自衞的也、獨逸の軍國主義は武斷的にして英米聯合國の軍國主義は平和的也、獨逸の軍國主義は專制的にして英米聯合國の軍國主義は平民的也、然らば則ち英米聯合國が民主々義の名の下に軍國主義の實を行ふ所以のものも畢竟するに侵略的軍國主義を打破せむが爲めなりと知らざる可からず。

組織したるに非ずや、強制的徵兵法を施行して國民皆兵の實を擧げつゝあるに非ずや、工業動員を始めとし食糧制限に至る迄軍國主義の獨逸と其軌を一にするにあらずや、米國は民主的共和主義の本家也、個人自由主義の亂暴也、而かも彼は參戰以來大陸軍、大海軍を建設し全國を擧て好戰熱に狂奔しつゝあるに非ずや、金の禁輸鐵の禁輸を斷行し物價を制限し通商貿易の自由を禁遏し全國の鐵道を政府の下に管理せむとしつゝあるに非ずや、是れ果して純乎たる民主主義の旨趣に適するものと謂ふを得べき乎。

◉米入國取締（一）

要に米國が外國人の入國を禁止せりと誤傳されし戰時中入國希望外國人の旅行免狀並に之に附帶する申告に關する同國國務省並に勞働務省の合同訓令の全文左の如し

亞米利加合衆國外交官、領事官、移民官並に亞米利加合衆國及各國の鐵道、汽船會社並に外國人其他之に關係を有するものに對し告示亞米利加合衆國以外の國土に於て本訓令發表後其國土より米國に入國寄港し又は米國を通過せむとするものは其の何人たるとを問はず（加奈陀より出發するものは此の限に非ず）其入國許可を得るに先ち其の當人に相違なきこと及比國籍を證明し之れに自署せる寫眞を添附したる旅行免狀又は之に相當すべき公文書を提示することを要す但同行者が妻二十一歳以下の婦人又は十六歳以下の男子なるときは各自に旅行免狀の携帶を要せず其夫、父又は母の免狀に各自の寫眞を添附するを以て足れりとす但し勞働務省長官に對し其海員が轉船の目的を以て亞米利加合衆國の沿岸に來ることを防止せんが爲め旅行免狀の交附を拒絶されたることを立證したる場合に於ては勞働務省長官は斯る海員に對し旅行免狀の提示を待たず入國許可を認可することを得

米國に國籍を有せざるものにして米國に赴かんとするものは其の出發國駐在亞米利加合衆國領事官又は特に權限を附與せられたる外交官より旅行免狀の查證を受けざるべからず而して其の出發國が自己の本國に非ざるときは先其國駐在自國外交官又は領事官の查證を要す爲め同國行船舶に乘船せんとするものは其乘船國、陸上より入國せんとするものは其國を通じて入國せんとする其國駐在亞米利加合衆國領事官の查證せる旅行免狀又は之と同樣の性質を有する書類を携帶せざるべからず

查證書式は左の如し

查證済　番號

本免狀携帶者は何月何日乃至何月何日亞米利加合衆國に向ひ出發の豫定、亞米利加合衆國以外の國土に於て本訓令發表後亞米利加合衆國に國籍を有せざるものにして亞米利加合衆國に入國せんとするときは（加奈陀より出發するものは此の限りに非ず）其目的、本人に相違なきこと並に國籍を證明せんが爲め出發せんとするもの（但信任狀又は相當の辭令を有する官吏は此の限りに非ず）は旅行免狀に查證する出發國駐在亞米利加合衆國外交官又は領事館並に入港港又は亞米利加合衆國内に於ける當該官憲に對し其所持者の職業姓名國籍並に其同行家族各自の姓名出生地及び左記の事項を記載せる宣言書を提出せざる可からず

一、旅行免狀所持者の生年月日並に出生地
二、父母の國籍並に入國
三、旅行免狀所持者にして米國以外の土地に居住したる者なる時は其最後に住したる地名並に其他最近五箇年間に居住せる地名
四、旅行免狀所持者にして曾て亞米利加合衆國に渡航せしものなるときは其目的並に滯在又は居住せし地名
五、水路により亞米利加合衆國に來らんとするものは出發日乘船港及び乘船名
六、出發國並に亞米利加合衆國に於ける宣言者の知人の姓名
七、住所 亞米利加合衆國居住の豫定期日、目的、目的を明證する書類其他之に關する證據物件並に亞米利加合衆國内に於て居住又は滯在せんとする地名
八、旅行免狀所持者は千九百十七年二月五日制定移民法第三條に於て亞米利加合衆國より上陸拒絶の規定ある外國人の或種の階級に屬するものなることを了知し自己に於ては何等此規定に抵觸するものにあらざることを確信すること
九、旅行免狀所持者が亞米利加合衆國の港に到着の際前記移民法に依り上陸拒絶せらるべき階級に屬する者と認定せられたる場合に於ては國外に放逐せられ又は其不可能なる場合に於ては移民留置所又は他の抑留所に抑留せらるゝものなること並に此規定に準據し上陸を拒絶せられたる場合送還に際して生ずべき一切の危險を冒しつゝあるものなることを了知せること

◇鮮銀理事たるべき片山繁雄氏

來る十八日の鮮銀株主總會に於て理事に推薦さるべき三井銀行外事部長片山繁雄氏の小照と自署因に氏は明治三十一年の帝大出身にして爾來三井銀行にあり深く外國爲替の事務に通じ溫厚篤實常に攻學を怠らざる銀行家なり

◉林野整理調査 六箇年繼續事業

總督府にては第二種不要存林野七百八十萬町歩の權利關係を調査するの必要を認め六箇年繼續事業として經費百三十五萬圓を以て林野整理調査を施行すべく今年度既に着手せしが調査の結果に對して之が法律上の効果を有たしむべく制令を以て林野調査令を發布すること成り同制令案は一月中拓殖局に送附同局より法制局に廻附され目下審議中の由なれば近く發布を見るに至るべし

◉土地調査減員

臨時土地調査局にては事務の進捗に伴ひ十六日書記技手並に雇九十餘名の免官を行ふ由なるが其所屬は製圖及び整理兩課の所屬なりと

◉朝鮮海運近狀 移出入共軟調

朝鮮海運界の近狀を聞くに内地よりの移入貨物は振はず現に朝鮮郵船▲阪神航路復航の如き概ね船腹に大なる餘剩を有し航海しつゝあるが其の原因は物價騰貴の結果朝鮮内に於ける消化力の缺乏を意味すると並に其の思惑仕入見越移入の如き困難なる結果なるべく而して朝鮮貿易の計數が非常の額に達し居れるは之れ全く物價騰貴に基因し其の量は多からずとの事なり又移出貨物は清津方面に於て小麥、岡島天寶山粗銅豆油等の▲新貨物ある外各港共米、荳の出貨を見居れど出廻りの捗々しからざるに反し内地行き船腹は相當に餘剩あるを以て各港に滯貨を見ず釜山方面の如きも商船、朝郵、尼ヶ崎、澤山各社船の所定たる阪神行百石三十圓は特に外社船の入港して百十圓乃至百廿圓位に積込し行くあり突き崩されんとする摸樣さへ生じ居れり要するに移出入共目下の海運界は軟調と云ふを當れりとすべし

◉内地行鐵道滯貨 三萬八千四百十五噸

滿鐵京城管理局管内に於ける内地行連絡貨物輸送狀況に就き二月十日現在の滯貨數量を見るに合計三萬八千四百十五噸にして一月三十一日現在の滯貨三萬七千七百二十三噸に比し十日間に於て六百九十二噸の增加を示せり其内譯如左

一、各驛滯貨	本州行	九州行
十一月中迄の物	二二、二六二	〇
十二月中	一、四七七	一、〇五六
一月中	二、四〇八	三、二六七
二月中	三、一八六	一、二八八
小計	二九、三三三	五、六一一
二、釜山棧橋滯貨	一、〇八二	六二九
三、輸送中のもの	一、一一七	六四三
合計	三一、五三二	六、八八三

◉鮮鐵荷動概況 前年同月に比し出貨激增

一月中に於ける滿鐵朝鮮線の荷動狀況を聞くに發送噸數十六萬七千四百九十六噸收入五十三萬七千三百四圓にして之を前年度同月に比すれば數量に於て四萬五千五百八十九噸（三割七分）收入に於て十七萬九千六百八十九圓（五割）の增加を示せり今其の出荷の主なるものを擧ぐれば左の如し

▲米 舊臘來米價は高値を維持し本月に入り氣配益々強硬にして取引頗る活躍し出荷好況を呈し又內地行滯貨荷物の一手段として釜山打切貨物の收容に努むる爲釜山草梁驛に大倉業倉庫を急設中の處十二月下旬竣成の結果釜山に於ける收容能力は從前に比し著しく增加し從て同地打切扱貨物の引受數量も增進し尚又滯貨の救濟策として月初澤山兄弟商會、汽船會社と連絡を開始し專ら阪神地方行滯貨の荷捌に努めたる等の關係上一般荷動き旺盛を極め前年同期に比し三割四分即ち九千三十四噸の激增を示せり其の著驛を擧ぐれば釜山群を拔き一萬百三十四噸に達し殆ど前年度に比し倍加せり又仁川八千百八噸群山五千四百九十四噸南大門三千三百三十五噸等其の主なるものにして發驛を算ふれば最も多く二千三百噸を算し裡里一千九百二十九噸慶山一千四百八噸泰仁千百噸其の次位にあり而して運滯扱は約二千三百噸にして內地行大部分を占む

▲大豆 前月來漸く活氣を帶びたる本品の荷動きは本月に入り頗る活況を呈し輸送總數量は一萬四千四百四十九噸にして前年同月に比し八千十七噸に上り二割の增加を示せり……內地直通取扱依然多數を占め九千百九十六噸を算し前年同期の三千九百八十二噸に比し約十四割を增加し又釜山打切扱量に上れり

▲石炭 騰貴を重ねたる炭價は本月に入りても依然として硬調を示せり然れども之がため一般の需要は毫も減退の傾向なく加之例年其他の比を見ざる酷寒は却て家庭用其他の需要を促進し荷動殷盛を極め一時需給の均衡を失したるが輸送力不足の爲め炭挑底の發喧しく當局は之が調節上多大の苦心を拂へり而かも其の輸送數量は一萬三千八百七十六噸に達し前年同期に比し五千五百九十三噸を增加せり

▲木材、鑛石、明太魚、鮮魚、鐵石、木炭、繩、叺、生牛等は孰れも前年同期と類似の狀況に在りて特記すべきものなし

要するに本月の貨物運送は前年來の滯貨と新に舊節季取引の殷盛とにより出荷一時に激增し荷動旺盛を極めたり

○露戰爭繼續不可能 過激派政府の布告＝露軍撤退

露都よりの無線電信に依れば過激派政府は布告を發して曰く『中歐同盟國との戰爭は既に終熄せり然れども獨逸の領土併合主義者の主張する講和條約に對しては之に調印する事を拒絶す但し露國は最早戰爭を繼續すること能はず』と而して更に聯合に依れる露軍に對し動員解除の爲め撤退を命ぜり（倫敦電報）

○英軍大砲撃開始

英軍は西部戰線にて大砲撃を開始したり（倫敦電報）

○獨探益跳梁跋扈

イルクツクを中心として活躍せる獨探は今や公然跳梁跋扈し其觸手は次第に東方に延びつゝあり（長春特電）

◉朝鮮地誌資料 土地調査局の調査

臨時土地調査局にては逐年實施し來れる土地調査の結果により三月より朝鮮地誌資料の調査を實行する事に內定目下其の下準備中なるが其の調査の種目は山川湖沼原野等各方面に亙って一層精細緻密の程度のものを出すべく若し該調査完了せば坊間に傳へられ居る朝鮮の地誌に關する諸種の調査並に著書等は大に訂正の必要を生じ來るべしと目せらる右調査は土地調査局內に朝鮮地誌資料調査委員會の制度を設け各課職員の兼任にて事務を進むべく材料は各種土地調査の進行により出來せる書類に求むるものゝ由

◉鹽澤大佐檢閲

鹽澤京畿道警務部長は十五日朝京城發往復四日の豫定を以て利川郡管內の巡閲を爲す可し

◉支那交通部員視察

下關滿鐵本線視察中の支那交通部派遣員京漢鐵路事務所副署長張保榮氏以下十名は不日朝鮮線視察の爲め來鮮の筈

◉青木課長歸任 水原に出張中なりし總督府農務課長青木戒三氏は十二日歸任せり

◉生田課長歸任 郷里德島縣へ歸省中なりし商工課長生田清三郎氏は十二日歸任せり

◉松崎朝郵營業課長 神戸に於ける買船のため出張中なりし松崎朝鮮郵船營業課長は十二日夜歸京す

◉今關氏講演 既報總督府囑託今關天彭氏の支那文藝十講の中第二講書籍の話（目錄學）は十四日午後七時三十分より京城俱樂部に於て講演する筈

◉鐵道倶樂部講演會 龍山鐵道俱樂部にては十四日午後六時より目下入京中の恩賜の義脚著者退役陸軍少尉大塚文雄氏を聘し日露戰役實戰談並に精神修養講演會を催したり

◉南鮮日報發賣禁止 二月十三日附發行南鮮日報第二千五百四十九號は治安妨害の廉を以て發賣頒布を禁止されたり

【仁川】

▲仁川署檢閲 仁川署に於ける驪澤警務部長の檢閲は十二日午前より開始し練兵及び練兵等の檢閲を了し午後在鄉軍人會員を公園に召集一場の訓示を與へ尙十三日は午前より檢疫所を巡閲したり▲仁川府豫算 仁川府及び學校組合大正七年度歳入出豫算の編成は十三日を以て全部終了せるが協議會並に學校組合への附議は本月末或は來月上旬頃なる可▲千歳艦出帆 既報の如く仁川碇泊中なりし練習艦千歳は十二日午前拔錨大連へ向ひたるが艦長白根大佐は仁川府尹に宛て碇泊中の厚意を謝し府民一同に宜しく鳴聲ありたしとの書を寄せ來れり▲看護婦會創立記念 仁川看護婦會にては十三日は創立十五年の紀念日に相當するを以て同日正午より會員一同支會長宅に集合記念會を開催せり

◉議會記事不明箇所判明 十三日夕刊一面議會記事第四行の項に▽千早、遠藤兩氏答辯を挿入す

人事消息

▲今村鞆氏（總督府技師）技術員會同に出席の爲全羅北道へ出張中の同氏は十二日歸任
▲野口次郎三氏（同上）慶尚南道へ出張中なりし同氏は十二日歸任
▲渡邊嘉吉氏（同上）林業技術員會同に出席の爲慶尚北道へ出張中の處十三日歸任
▲渡邊潔氏 往復一箇月の豫定にて十五日朝東京大阪外數縣へ出張
▲橋本恭介氏（大阪朝日京城特派員）十三日出發大阪へ
▲白井水城氏（辯護士）十三日入京

彼れ此れ

◆獨逸がウクライナと平和條約を締結せしは、蓋し事實なるの如し。之れ即ち、露國を小邦に分裂せしめ、而して個々に支配せんとする、獨逸野心の發露が、現實せしものと見て可なるべし。讒て是れが、露獨單獨講和の、前提をなすものに非ずや。元來ウクライナは、露國の寶庫也。◆聯合國の、敵を兵糧攻めにせんとする、其の計畫は、之に依りて、破壞せらるゝに非ずや。今や獨逸の手は、西伯利亞全部に蔓延す。露國の危害は、歐米の與國のみならず、日本と支那の頭上にも、將に墜り來らんとするに非ずや。寒心に堪へざる也。◆路易王よりも薄倖なる、露國の廢帝は、病篤く、前皇后フョードロウナは、發狂せりと報ぜらる。更らに過激派政府は、兩人を國民裁判に附せんとすと。洵に近世の一大悲劇也。後人之れを如何に見るか。◆ボーナーロー！君曰く開戰以來獨潜航艇及び飛行機が、非戰鬪員たる女子、小供を殺す事、實に一萬四千二百二十人也と。獨逸の罪惡、何時も乍ら驚くに堪へたり。

●再燃した露廢帝の裁判

◇慾しい印象の都に召喚？

帝政思想を根本から除く

西比利亜の流謫地トボルスクに侘しい日を送つて居る露國ニコラス廢帝の一族を裁判に附するといふ説が持上つたのは隨分古い話しだが今再び此問題が湧出して全然新らしい愁を持つて來た、つまり過激派政府の者は廢帝を現在の儘に放任して置くときは、到底國民の腦裏から

◆帝政思想 を取り除く事が出來ず、何時又た旗を飜すやも知れぬから此の際廢帝一族を公判に附して根本的に危險を除去しなければならぬといふのだ、愈々裁判に附する事となると、廢帝の一族はトボルスクを後にして懐かしい、けれども悲しい印象の都に召喚されてペトロパウロフスクの要塞に留置されるのである、併し若し其公判を開くとして廢帝一族中の

◆誰が被告 にするかは當然起つて來る問題であらねばならぬが、之に就いては過激派政府は斯う解釋して居るさうだ、――今回の敗戰の不首尾の張本人は勿論ニコラス廢帝であるが前皇后も此戰爭の關係者の一人として公判に附し殊に閣中から國政に干渉して居た兇相を明かにせねばならぬ、又ロマノフ家と至大の關係ある

◆例の怪僧 ラスプーチン事件も共に其眞相を究むべきであるー然かも此裁判は別に特種の高等裁判を設くるに及ばず革命裁判の役員一同で審判しようといふ

曾ては露西亞大帝國の皇帝として國民の讃崇を一身にあつめて居たものが嗟嘆の間に奈落の底へ突き落され夢にも見たことのない

◆配所の月 を眺めるさへ悲劇以上の悲劇であるのに、更に此悲劇の主人公を法廷に立たせやうとは有爲轉變も亦極まれりと云ふべく廢帝一族は抑も什麼感慨を抱いて居るであらう（某露國消息通談）

◉來る三月十日 陸軍記念日

＝龍山偕行社＝

軍事思想鼓吹の好機

來る三月十日は陸軍記念日なるを以て龍山偕行社にては例年通り記念日祝典を擧行する事となりたるが戰爭未だ收まらざる折柄一般國民に對し軍事思想を鼓吹するには恰好適の時機なるのみならず當日は恰も日曜なるを以て例年より趣向を變へて勇壯なる

◇實戰的演習◇

を行ふ由今其の次第を聞くに午前十時一發の煙火と共に軍司令部前方の新練兵場に於て開會奏樂裡に盛裝せる騎兵の高等馬術あり次いで當日の呼物たる諸兵連合戰鬪演習をなす由なるが從來は餘興的の模擬演習に過ぎざりしも今回は前述の如き趣旨に依り防禦陣地の如き總て實戰的の塹壕を築き

◇機關銃の空砲◇

を發射するなど勇壯淋漓の活劇をなす可く參加兵員は約一千名、戰鬪演習終つて當日參集の市内中小學生徒一萬數千名に對し場内各所に於て軍事講話ある筈なるが本年は練兵場遠隔に失する嫌ひあるを以て尋常小學生四年以上の參觀方を交渉しつゝ有り講演者は第七十九聯隊長及軍參謀等なりと右

◇終つて正午より◇

松川軍司令官は龍山偕行社長の資格を以て當日招待の官民約千名を官邸に請じ午後零時三十分より祝賀の宴を開き同一時三十分より軍司令部構内に於て軍隊角力、軍刀術、銃劍術、博多二輪加等の餘興ある由にて之には軍人軍屬の家族及び來賓家族等を招待なす可く當日は一般に對し午前八九時より兵營を解放して軍隊生活の状態及び營内を縱覽に供し兵器其他需品等を陳列するとの事なり

◉大阪白米値上

大阪穀物組合相場は十四日より白米一升に付き四厘の値上をなして三十錢二厘となる（大阪特電）

◉積雪にて一部落全滅か

飛驒國吉城郡坂下村字滿波は深山中の一部落にて總戸數僅かに六十戸餘の所なるが近頃の大積雪にて全部落全滅し男女悉く死亡したりとの風説あり右は薪炭と飲料水に缺乏したる一月二十五、六日頃の出來事にして其の内の生存者三名は萬死を冒して十三日富山縣婦負郡細入村に達し内二名死亡したりと（大阪特電）

◉趙氏の美擧

▼金米を窮民に頒つ

韓一銀行取締役趙秉澤氏は舊曆正月に際し附近の窮民六十戸に對し米一斗金一圓北魚一束宛を分與したりと

◉尾崎氏無關係

大阪電報によれば上四丁目尾崎行之助氏の三兄弟が詐欺のため留置され乍ら尾崎行雄氏の實弟云々と掲載されしが氏の兄弟は全く無關係なりと（大阪）

梅一輪

◇子供の相手をして

◇佛の道を聞く事が好きで

◇よく母と一緒に出掛けます

＝貿易商廣江澤次郎氏夫人＝

麗かに晴れ渡つた午後の日が冠木門一杯に照り込んで小さな灌木の影が飛石にうつり夢温く目を醉はさうとして居る、大和町の曹溪寺へ道の途り廣江澤次郎氏の宅は何時も乍らに閑靜な住ひである、英米トラストと苦鬪幾歳遂に其目的を達し小島撫草外にも其名を謳はれた廣江氏もしばし鞭を納め再び雄飛の機を覗つて居る『主人は丁度上海の方へ出向いて不在でございます』自ら客を取次ぐ園惠子夫人は實業家の妻として頷づかれる態度に淡白な氣象を見せて『まあ―大層暖かなこと、いゝお天氣でございますね之れでは櫻も今年は早いかも知れません』

◇早く暖くなりますと女は全く助かります、第一毎日の洗濯物は申すに及ばない事なんですが冬物の洗張りなんかに致しましても毎年三月も中ばを過ぎませんと手が付けられません、ものが什うやら此の分ですと早く形が付きそうでございますね、子供が居りますので何の稽古も致しませんそんな暇がありましたら子供の相手でもしてやつた方がと考へて居ります』

◇純潔な子供の愛に生きて行く大人は同時に信仰に生きて行く『私は佛の道を聽く事が好きでよく母と一緒にお説教の聽聞に出掛けますが其外には別段お交際も無く從つて外へ出た事もありません』今年から小學校へ入學る長男の達男君が活溌にそこいらを驅け廻つて居る――お父さんの樣な敏捷さで（寫眞は夫人と右より□子嬢、正克君、達男君、―つ）

▼▼雛祭ものがたり▲▲

＝夫婦の契を祝ぐ爲である＝

◇◇史話美しい淡島雛◇◇

雛の種類もいろ〳〵古雅なものもあれば典麗なものもある、それ〴〵の時代を考へるとそこに一種いひがたいゆかしい感じがする、雛祭りの起源は遠く

◇◇奈良朝から始まり◇◇

平安朝に至つて一入盛んになつた、今では天神さまお姫さまと斯う云つてゐるがズッとの昔は佛像的の一は男體一は女體と云ふものを二ッ並べてこれを祀つたものである矢張り今と變らず夫婦の契を祝ぐによるのである

◇三輪 雛や吉野雛を見ると如何にも古雅で佛像的でそして唐朝の風容が備つてゐるところは今の雛とは如何にも遠き世の思ひがする、宮中の御祭りが次第に民間に及つて來たが今でこそ木目込とかねりものとか一美術的となつてゐるが昔はその國々によつて

◇◇雛が祭り博多の紙雛◇◇

薩摩雛琉球雛など

は人形といふよりも寧ろ一種の遊戯的で紙に製しこれに美しい彩色を施したものである又菜の花雛は菜の花を頭とし葉を體としたので之れも古い雛祭りの祭事にある

◇近松 の「妹背山婦女庭訓」の山の段は雛祭りが主材になつてゐるそれほど奈良朝から平安朝にかけて雛の祭事が盛んな傍をこれにて汲む事が出來る、山の段は右は妹山左に背山、その中を

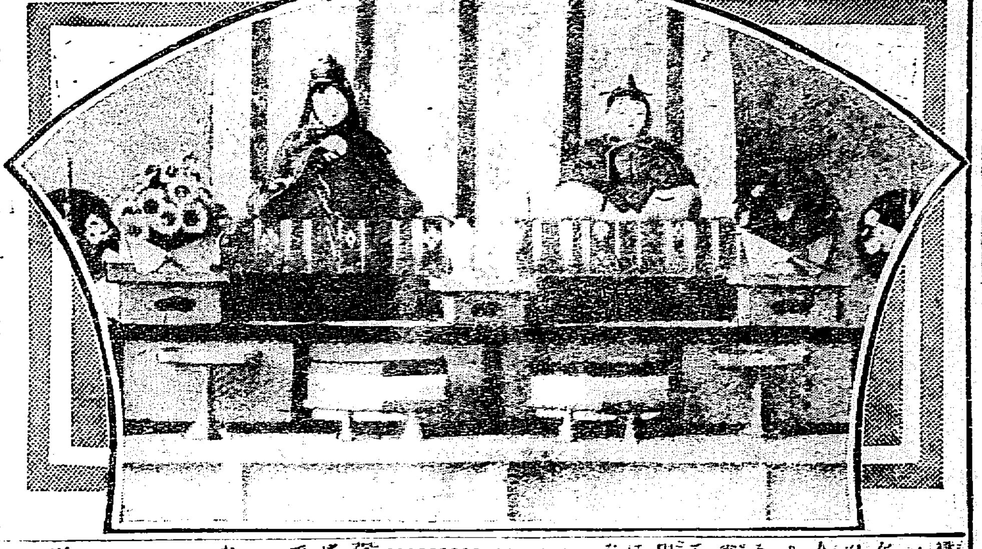
◇◇よしの川が流れてゐる◇◇

入鹿大臣といひお三輪といひ奈良朝の宮廷に一種の情の花と誠の實とを結びつけて近松が描いたのらしい、雛祭りを山の段に表現したのは奈良朝の古雅なる裡に艶美な色彩を齎らす

◇濃い 紺碧の潮に躍る紀の國の海に春の來る早し、加太の浦に臭く細に美しい縞鯛が漁れる春も近い、浦邊に添うて淡島神社がります、こゝには神功皇后三韓征伐より歸めでたくこの浦に凱旋の御艦からし時少彦命の御容を紺にて作り神殿に納め給ひ、又仁徳天皇と

◇◇淡島に御遊獵しなひける時◇◇

島后の御容を紙にて作りこの社頭に納め給ひしぞ、淡島雛又は小米雛の起源にて浦風寂びても今も同社殿にてこの雛を祀りこの雛をお守りにしてゐる、春の湖浦に煙る頃は近在近郷の婦人達舟にて或は陸路より續々詣で、淡島雛をうけて歸る、雛の史話に逃しがたいものである。（大阪肥者）



◉廿錢銀貨僞造

嫌疑者捕はる

廣島縣豐田郡大崎南村生れ龜村松之助（三二）は貨幣僞造犯の嫌疑にて平壤署の寺田刑事に取り押へられ目下嚴重取調中なるが同人は大正元年十一月傷害罪にて平壤覆審法院にて懲役六箇月を申附けられ平壤監獄に服役中貨幣僞造犯にて同監房に在りたる石塚某なる者より貨幣僞造の方法を聞き翌年五月出獄して之を實行せんと目論見材料・錫過盆酸カリウム外數種の藥品を買ひ求め鎮南浦に到り木村某方の二階を借受け密かに鑄型を造り人目を避けて大神宮山の奥に立籠り二十錢銀貨を僞造したる形跡あるを刑事に探知され同人の行衛探査中なりしが其後何喰はぬ顔付にて平南京城成興地方を渡り歩き近頃は三浦三菱製鐵所の鑄大工に雇はれ居たるを取押へられたるものなりと

讀者文藝（一等には百十錢の商品券を給す）

▲物は付『手の屆かぬ物は』

◇姑の見た嫁（一等） 京城南米倉町一五九 米田 一笑
▲娘の嫁 黄海道 朴 呂 來
▲嫁の監督 水原 松の鳥人
▲我子のしつけ 京城 千 代
▲錦繍の天府 龍山 南 一 拔
▲深窓の令孃 龍山 松 永 生
▲大正の天壤 平壤 江 笑
▲拉止められた郷宿 元山 淡 思
▲南陵 仁川 厉 次 郎
▲其婦人の家族 京城 雜 亭
▲見返しの松 利川 沂 光 生
▲家主の色 京城 勿 來
▲花のある枝 京城 村雨夜之助
▲京城の共同便所 京城 朝 風

讀者文藝課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名明記の事▲一人一題

大 氣 は

大阪正米

十四日後場 至り大阪上寄入電に中六十一錢より八錢高九十一錢と上伸し九十錢と四節大阪の緩安に遂に八十三錢と八十六錢を返して

記者の手帖から

▽ぼろい金儲（上）

＝甍た下宿の客＝乃公は腕に金が

ある日の事、明治町邊のある下宿屋に甍なお客が舞ひ込んだ、ボロ〳〵の洋服に荷物と云つては信玄袋が一個あるばかり、餘り風態が見窄らしいので金にもなるまいと

◇宿の女將 も一旦は斷つたが其男些しも周章てず

『僕は昨日内地から來たばかりで、お懐中にはビタ一文もないけれども乃公の腕に金がある、二三日經つたら下宿料の半月分や一月分は入れる決して御迷惑は掛けぬから置いて吳んな――』

と臆詰の談判、否だと云へば

◇梃子でも 動かぬと云つた意氣込みに流石の女將も詮方がないと思つたものか不承々々に兎に角脱いだ、ところが此方は件の職人先生、始めの中は大きな顔して酒ばかり飲んで居たがそれから間もなく夜になると何處へともなく

◇ブラリと 出て行く、二日か三日同じやうな事を繰返して居たが其中に或る晩非常な上機嫌で歸つて來た

『オイ〳〵女將、下宿料を拂ふぞ、下宿料を――コレ此通り中は紙幣で一杯よ』

と熟柿臭い息をフーッと吐いて、其處へ喰ひ過ぎの蛙のやうに

◇膨れた財布 を投げ出した女將は今更のやうに驚くやら喜ぶやら『まあ〳〵何時でも好うおますのに、下宿料が心配やつたら始めから止まつて貰やしまへんがな』と俄かに歯の浮くやうな

◇お世辭を 云ふ始末、それからは女將のこの職人に對する態度はガラリと掌を返すやうに變つて一にも職人二にも職人、職人でなければ人間でないやうな事を言ひ出し、偶には他の下宿人に向つて『ほんまにあの職人さん感心だつせ、昨日も

◇三圓儲け やはつたし今日も亦五圓……』などゝ當付けがましい御託を並べることもあつた、此職人は果してドンな方法で儲けるのであらう

商況

東京期米特電

十四日前場 一番 二十五圓五十三錢 二番 六十錢

兵庫期米

十四日前場 先限二十五圓四十八錢 二番 四十四錢 三番 四十五錢

大阪三品特電

十四日前場寄付 三月限 三三・一五 … 七月限 三三七・五〇

大阪株式特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

◉絹糸布下押し

頭重き三銘先物

十圓六十五錢

[illegible]

◉金物氣配不勢

低落各一圓方

鐵材界

[illegible]

◉金巾類好況

四五圓方

引返し晒細布

思惑又は實需向

望人多く約八十錢方の昂騰

[illegible]

◉石油値上げ乎

近々協定値上

[illegible]

◉製粉類騰勝

浮粉一躍十五錢方騰貴

[illegible]

◉水飴續て高し

近々更に幾分値上

[illegible]

◉片栗強持合

[illegible]

下關相場

[illegible]

田中金兵衛商店（仁川米豆取引所仲買人）

京城正米

商内も相當 昨氣配より一二十錢高

[illegible]

仁川正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話二八一・長二八三 電略シ又は（カクシ）

釜山穀物（十三日）

更に强人氣を唱 定期に向つて直

[illegible]

市場雜觀

下盞の成行 依然保合の裡に

[illegible]

仁川期米

▲十四日前場 保合下盞り 大阪天候晴天 昨止より六錢安 入電二十一圓七十五先 錢と九錢安に寄付

[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話一五八番

米賣約し内地へ

米四五千叺買 二等合格 東京へ受 買入交換

[illegible]

仁川米豆取引所

十四日の四月限

[illegible]

釜山水産市場

[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人

撫順のモンド瓦斯（一）

工場行脚の……李衛門記

◇東洋拓殖會社も朝鮮で新計畫◇

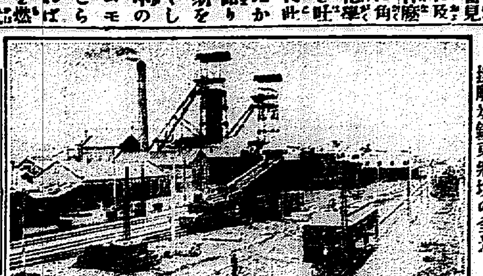
◇石炭の煤煙から不廉い硫酸アンモニア◇

研究所の聞理事が 撫順のモンド瓦斯を觀察に來た、不幸にして理事の抱負を聞く事を得なかつたが同行には目下日本の化學工業界で有名な高工の鈴木達吉教授があり且つまた昨夏まで九年間撫順のモンド瓦斯にたづさはつた西尾保氏（目下滿鐵中央試驗所長）が加はつたといふ此の二人の智囊と經驗とを利用して川上理事が什麽事業をはじめるか、それは後日のおたのしみと致して素人の李衛門が瞥見したモンド瓦斯工場を御披露に及ぶ、一體全體モンド瓦斯とは什麽モンデガス？は少々苦いが兎に角

煤煙を吐かぬ一名物 最近勃興した日本の化學工業界に萬丈の黑煙を吐くものと云つてよい、然るに此のモンド先生一向黑煙を吐かぬから困る、モンド瓦斯發電所は詰り石炭を燃やす時に發生する瓦斯をとつてそれを石炭の代りに燃やした上そのまた副産物たる煙の中の窒素を採つてこれから硫酸アムモニヤ（肥料）及びコールターをとらうといふのである、言ひ換ふれば普通の電氣會社が不廉い石炭を燃やして蒸汽で罐の湯氣を沸かす代りに石炭を一度瓦斯にしてその瓦斯で湯氣を沸かし發電所の動力を得ようとするのである、而して

石炭から瓦斯が採れる 途中に肥料として廉價な硫酸アムモニアを得モ一つ所にコールターを得ようとするのである、モ一度繰り返して言へば……イヤモウ分つた〳〵とは事でガス、つら〳〵考ふるに日本が偉くなるには大に工業が盛んにならねばならぬ、到る所に煙突が並んでドシ〳〵ドシ〳〵工場の機械が運轉せん事にや世界の一等國も頗る心細い譯では御座らぬか此の邊特と考へて見さつしやれ……とは李衛門ならずとも誰れしもお題目のやうに言ふところそれには機械工業もだが、何を申しても化學工業が大事で御座る、雷燐さんを捕へて電車を動かす位るは屁の河童、火藥用の

石炭が利用に 硝酸などは空中から窒素をとつて補つてゐるといふから中々撫順でもやつて御座る撫順は實に石炭の撫順としても化學工業の撫順と申して過言で御座るまい、現に亞鉛製煉所が出來る、鐵工場がある、久原の製煉所が計畫される、モンド瓦斯の發電所がある、空中窒素の化學工業會社がある、今後の發展も實に素晴しいものであらう、其の原因は何か曰く廉い廣大無限の石炭、渾河の滑らかな水、賤い勞力、賤い支那苦力の勞銀これである、モ一つ便利な汽車の運輸、モ一つ賤い工業地の撫順、就中撫順の花と謳はれるモンド瓦斯發電所及び其の副産物たる人造窒素肥料の硫酸アムモニア島渡素人の李衛門の見聞記を記して見る（奉天）



撫順炭鑛東露坑の全景

◉製鐵高九萬噸

▼兼二浦三菱製鐵所

大正三年二月より三千二百萬圓の巨資を投じて起工したる黄海道兼二浦三菱製鐵所は愈々來る四月一日より製鐵事業を開始すべきことは既報の如くなるが之れに要する鐵鑛石は目下黄州郡鐵山面及び載寧郡銀山面の二鑛に於て盛に採掘中にして鐵山面に於ては工夫一千餘人にて採掘に從事し一日約七十噸の出鑛量あり又銀山面に於ては一日一千六百餘人の工夫をして一日約八十噸內外の採鑛を行ひつゝあり而して製鐵所一箇月の鐵鑛消費量は約二萬噸にして本年四月より事業著手するとせば本年中に約十八萬噸の鑛石を要することゝなり隨つて製出せらるべき銑鐵は本年の産額九萬噸に上るべく內四萬五千噸は長崎神戸の兩造船所に於て造船用に消費せらるべく殘額四萬五千噸は朝鮮內地等一般に供給するものなりと

◉安東支那銀行

一千萬圓に株式三十万元に拂込 全株五萬株にて百五十萬元

安東商務總會主稱者となり本月二日支那人の重だちたるものを叫合し最後には銀行を創立すべき旨的なる名稱の下に總株數五萬株を希望者に分割し一株の責任額三十元を三十箇月に分納し以て總額百五十萬元に充たし初めて安東實業銀行の銘打つて業務を開始し大に農工商業の發達促進に盡すべく更らに他方面資金吸收の途の一として貯蓄部を設け最期短期養老學資結婚等の區別を設け預金吸收の策を講ぜんとするものゝ如し而して目下の場合職員役員として安東縣知事をして會長たらしめ其の他商務總會に於て各般の事務に當り居るものゝ如し尙ほ仄聞する處によれば本會株主は支那人のみに限り外國人は絶對に其の株主たる事能はざるのみならず爲一支那人株主にして所有株を外國人へ讓渡賣買を行ひたるものに對しては既定利息の支給をなさゞる外該株全部を沒收する方針なりと

◉朝鮮運賃調節策

小麥、大豆、粟等の輸出旺盛と共に運賃の騰上底止する所を知らず一般に影響を誘致したるは輸出同業者競爭の結果と知られ愛に今回鮮米輸出業者商間に於ては組合を設けて一定の運賃を標準とし輸出を爲す事となれり聞く所によれば斯業者界に於ては知らず〳〵競爭の結果遂に暴騰を來したる運賃一石二圓六十錢といふ無類の例を開き利益は支那馬車の壟斷に委せらる有樣なるより斯業者は是れに著眼し同組合は一石二圓二十錢の運賃に一定し飽まで斷行を期す方針なりと

◉平元鐵道請願書

平壤商業會議所に於ては過般其筋に請願すべき平元鐵道速成並に日本海橫斷航路開始に關する請願書提出の件に就て元山商業會議所より其後何等の回答に接せざるより過日之が成行如何を同會議所に照會せしに十一日該請願書二通を送附し來れり然して平壤及び鎭南浦兩商業會議所會頭署名捺印を了し然る後東京に送附するの運びに至るべしと

◉皮鼻疽再檢査

平壤府市中の馬匹に皮鼻疽病漸次蔓延の虞れあるより過日當局は各方面所在の馬、驢、騾等に付き罹病檢査を行ひたるは當時所報の如くなりしが更に來る十五、十六兩日に亘り第一回檢査殘餘の馬、驢、騾全部に對して檢査を實施し且つ防遏的方法を講ずる事となれば所有者及び管理者は十五日正午十二時まで漏れなく平壤牛市場に馬匹を牽引し受檢すべく嚴重に示達したるが今回の檢査地域は府內及府外四十四町里に亘り此方面の飼養頭數は驢七騾九七計百四頭なりと

◉青年會と忠魂碑

平壤瑞氣山公園の忠魂碑改造に就ては既報の如く在郷軍人分會、實業青年會、敎友會等直接間接の干係ある各團體が發起として寄附募集の衝に當る事となりしが平壤實業青年會は別項の臨時大會に本問題を附議したるに多數の意見にて青年會自體として金三十圓を寄附すべく各團體割當額の募集委托は都合により絶對的謝絶する事とせり

◉電通の懸賞廣告

全國の新聞界並に廣告界に活躍せる大阪電報通信社は今回新聞廣告の圖案並に文案を奬勵する目的を以て一頁の懸賞廣告を發表したるが該廣告は本日の本紙第四面に掲載しあれば讀者諸君の奮つて應募あらん事を希望す

◇支那人の嗜好

◆芽出度い色の數々◆　◆大黑天は一向もてぬ◆

◇支那人の好く色合は一般に濃厚な色であざやかなものがよい、例へば深紅とか深緑とか、淺黄、茶褐、桃色、鶴色、葡萄、黄色、深藍、紫色などがよい

◇支那人の好く模樣はなか〳〵多い、龍はむかしから芽出度いものとされてあるがこれは皇室の專用で一般に用ゐる譯には行かなかつた、故に五本爪の龍は民間では遠慮してゐる

◇支那人の好く模樣は鶴、鷺、鵲、孔雀、鳳凰、鴛鴦、孫ちカチカラス、蝙蝠、鶯鶴、孫の鳥類がよい

◇その他蝶々、蜂、らくだ、馬、獅子、象、鹿、虎、豹などもよい

◇また花では水仙花、桂花、蘭、梅、竹、松、柏、牡丹などから唐桃、鵬壽草などがよい

◇また山水だとか仙人、美人なども好まれる、これに反し蝦蟇とか、蟹、狗、鼈、鬼、蛇などは最も嫌はれる、『君子自重』でも利き目のない所へは蝦の繪をかいて貼つておく程である

◇日本で縁起よき大黑樣は嫌はれる、これは支那人に云はせると賤黑を意味するものださうでボコペンである

◇また同じ花模樣でも花の集つたものは團花として悦ぶが所々に散つたものは大に賤ふ、同じ花でもなか〳〵御註文がむづかしいと知るべし

◉四平街

◇蒙古開發の策源地◇

四平街は大連に到る三六六哩鄭家屯五五四哩朝鮮京城五九九哩の地點にある滿洲特産品の集散市場として殷盛を極むる南滿洲鐵道會社の首要驛たると共に滿蒙五線の一たる四鄭鐵道の起原地として蒙古開發の策戰地として重要視せらるゝに到る

▲市街區劃整然　道路廣濶にして坦々たるが居住者は日鮮支人の雜居たり明治四十三年頃は僅かに邦人一四六戶男二二九人女一五八人支那人一八三戶男一●九三一人なりしが附屬地の發展と四鄭鐵道敷設の氣運に順應せらるゝや年々來り住するもの倍加し昨年十二月調査に由れば邦人三七四戶男六三〇人女六〇八人朝鮮人三戶男八人女一人支那人七三五戶男四七二六人女七三四人合計六、七〇七人の多きに達す

四平街停車場

▲特産物と輸出　附屬地發達は特産物集散の盛衰に由つて大に消長あるものなるが四平街の如きも年々集散所を増加し爲めに市況活潑を呈するに到る重なる輸出品としては大豆五六萬噸を首とす四平街大豆が品質佳良殊に製油に適し油量含蓄豐かなる爲め大に油房業者間に歡迎せらる小米即ち粟の發送年額は少なきも四五千噸多きは八千噸を超ゆる事あり重なる仕向け地は朝鮮にして昨年の如き六十貨車即ち千八百噸餘の輸送あり京城、元山平壤、群山木浦等に輸送せらる

▲高粱は大豆に　次ぎ發送四五萬噸を上下しつゝあり主として食糧及び釀造原料として輸出せらる又支那人等の間食として彼等の必需品たる瓜子（西瓜の種）が鄭家屯より三四千噸の輸出を見るは他の地方に比し異例たるべし其他包米豆粕及び雜穀を合して一箇年驛發送約十二三萬噸其他の雜品二萬噸を合し輸出總額十四五萬噸內外たるべし然るに四鄭鐵道開通の曉は八面城方面の農産物を吸收して四平街驛を素通りとし同地集散額を減少せしむべしとは一般人士の信ずる處なりしに舊年末に際し各棧房及び驛積滯の數量と大正五年度の舊歳末と六年度歳末との驛發送數とを對照すれば大差なきのみならず却つて

▲六年度に於て　優勢なるを見る況んや商取引の中心點が依然として四平街に根據を有し總ての設備が完全し居るを以て却つて四鄭線を利用して昔日倍加の活躍如たるものあるべし四平街繁榮は今後益隆盛に進むも決して衰頽する事ある可らず五年度調査に據る重なる者は耗用品九千噸を除き石材一萬噸、加工及び木材八千五百噸、鐵材二千二百噸、綿布千八百噸、石灰七百噸、石材千六百噸、麥粉千五百噸、鹽千五百噸、油千二百噸等にして砂糖六百噸綿絲四百噸米四百噸等之に次ぐ前記築建材料の輸入多量なるは大正五、六年は家屋新築の増加と四鄭線工事開始されたるが爲めなり（未完）

台所の日くく

◇蕪くず汁◇

蕪菁は竪二つに割り其れを小口から薄く切り沸つたお湯の中に入れ二三回沸立て清水で能く洗ひ水氣を切り次ぎに鯛をおろし煮汁を人前一合の割合で入れて火にかけ一と沸し吸味かげんに醤油を注し右の蕪菁を入れ一と沸立つたところ火よりおろし水で溶いた粉を滴らし込み淡くどろ〳〵加減に汁をつくつて蕪を入れ少し火にかけて煮なへして椀に盛りおろし生姜の搾汁を少し滴らして出します

白山黒水

大連も今年の冬は意外に暖かで名物の骨を刺るやうにコタヘる海風も少く極めて穩やかな冬であつた▲一月中の平均溫度は零下五度六分で長春よりは十二度一分暖かく東京に比べると七度三分寒かつた事に成る▲大連の政記公司と云へば朝鮮とも關係を有つて居る海運業者であるが何んでも日支人を合せて大連で成金の筆頭であるさうだ▲此の政記公司の主人公は非常の排日家で日本人を仇敵の如く考へて居るが▲金の有るに任せて無暗な高値で日本人の土地建物を買收し▲一旦手に入れたが最後直ぐに家の改造とか何んとか名を付けて日本人を追出して一切日本人には貸さない▲處が欲に目の無い輩が其の結果も考へず目抜の場所をドシ〳〵手放して政記公司の手に歸せしめて居るのは甚だ不心得だ

左甚五郎

第百六十七席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

此の澤庵禪師といふ方は三代將軍家光公が歸依なすつて師の坊〳〵と云つて敬ひました、家光公が禪師に對つて　家『禪師近くして東海寺とは是如何に　澤『大軍を率ゐたるを將軍と云ふが如し　家『一枚の物を前師とは是如何に　澤『一つの物をまんちうと云ふが如し　家『淺草物屋無くして湯殿山とは是如何に　何うしても家光公敵はない、或る時刀を取つて禪師に見せ　家『禪師、此の刀は生身か死に身か見てくれい　禪『恐れながら死に身でございます　家『イヤ〳〵五郎正宗といふ銘があるぞ　澤『例へ銘があつても柄の下でございますれば死に身でござる』と申上げたさうでございます、平內は東海寺へ參りましたが、平素來て居りますから別に取次ぎも頼まず禪師の居室へ通り　平『禪師はお出でございますか　澤『イヤ平內か、此方へ通んなさい　平『相變らず御書見で御座るな　澤『イヤ退屈をしたから讀みかけの本を讀んで居たのだ、まア茶を喫みなさい　平『有難うございます、就ては少々禪師に伺ひたいことがあつて參りましたが　澤『何だ改まつて伺ひたいことがあるなどとは何だ　平『他でもございませんが、御存知の通り手前は首斬役を勤めて居りまして永年の間罪人の首を斬て居りましたが如何に役目とは云ひながら餘り快い心持もいたしません、斬られる奴等が無念と怨んで後に祟りでもすまいかと思ふと心配でなりません、祟るものでございませうか祟らぬものでございませうか是を伺ひたいもので』ハヽア』と禪師は笑つて　澤『イヤ平內、貴樣も老込んだな、年を老るとそんな考へを起すものか　平『老込んだ譯ではございませんが餘り快い心持でもなく、甚だ心配に思ひまするので　澤『其う聞かれたら祟るものか祟らないものか俺にも判らない　平『貴僧は出家のことであるからそれしきの事は判りませう　澤『我ら出家だとてそれは判らない、が平內、大層な雪が降つたな　平『雪の降つたことを聞きに來たのではございません　澤『雪は月花の眺めといふが其の內でも雪が一番宜い、月花が美事だと云つても傍の塵塚を見れば汚い、雪が降つたりと云へば一面の銀世界堂宮塵塚も眞白にある　平『そんなことは何うでも宜うございます　澤『まア平內默つて聞きなさい』

余平內は太刀取を斷つて出で鉛鐵御柄の刀を取つて金作の後へ廻り一と打に打下さんとして樣子を見ると稻本金作は兩の眼を閉ぢ口を結んで自若として居ります、金作が決心をもたといふのは總じて切支丹を信仰する者は死を恐れません、自死するより刄を受けて死するを譽とする、重き罪科に處せられたる者は天帝の意に叶ひ上席を許されるとある、我刄を受けて上席を許されんと覺悟をして居りますので故少しも恐れず首を差伸して居りまする、此の覺悟には流石の平內も感心をいたしましたが、何時まで果じと只一と打に水もたまらず金作の首を打落しました金作の死骸はお取捨になつたが是より平內が首斬役を勸める樣なことになつて罪人の首を斬ること幾千の數を知りません、人は年を老りたいもの、平內も段々考へて役目とは云ひながら數多罪人の首を斬て餘り快い心地では無い、畏りといふこともあるまいが、然し幾分か怨みを受けて居る、然て見れば未來のことも思はれて只何となく恐しく思はれまする故、品川東海寺の澤庵禪師の許へ參つて其の意見を聞いて見やうと思ひました故平內は澤庵禪師の許を訪れまする、

京城明治町一丁目　入院隨意　馬龍病院　電話一六五九番　院主　佐々木香迂

二月十六日　九星　舊正月六日甲午　本命一白　北定　赤口

▲一白　[illegible]　▲二黒　[illegible]　▲三碧　[illegible]　▲四緑　[illegible]　▲五黄　[illegible]　▲六白　[illegible]　▲七赤　[illegible]　▲八白　[illegible]　▲九紫　[illegible]

演藝案內

黄金館　電話二三六七　[illegible]

有樂館　[illegible]

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番　京阪落語若手一座語樂會　[illegible]

大正館　電話八七三　[illegible]

壽館　京城本町　電話一〇五〇　[illegible]

コシケがどんなに強くともシンから癒る　女のくすり　命の母　十錢、廿五錢、八十錢、一圓五十錢　本舖　東京新榮町　笹岡藥房

至急募集　本校卒業生は自動車の激増と共に運轉手技師販賣員等に招聘多く不足益甚し今回何人をも入學を許し　[illegible]　自動車學校

懸賞!!

壹等金貳拾圓（拾圓宛貳名）
貳等金拾五圓（五圓宛參名）
參等金拾圓（貳圓宛五名）

此頁に掲載して有る十二種の廣告中何の廣告が一番に讀者諸君の目を惹きますか「此廣告が第一に目に着いて購買心を起すに足る」と感ぜられた廣告を一つだけ葉書に記入して御投票下さい一番投票の多かつた廣告に投票された讀者諸君の中へ抽籤を以て右の賞品を差上げます

投票の際は左の規定を御承知下さい

一、投票は葉書を用ひ一名一種に限る事

二、投票には廣告名と其廣告を見た新聞名を記入する事

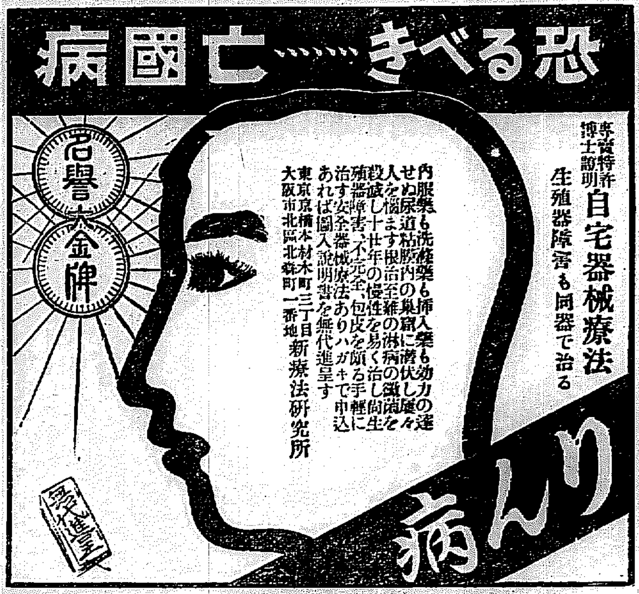
三、宛名は「大阪市東區今橋五丁目大阪電報通信社廣告部」とし發信人の住所氏名を明記する事

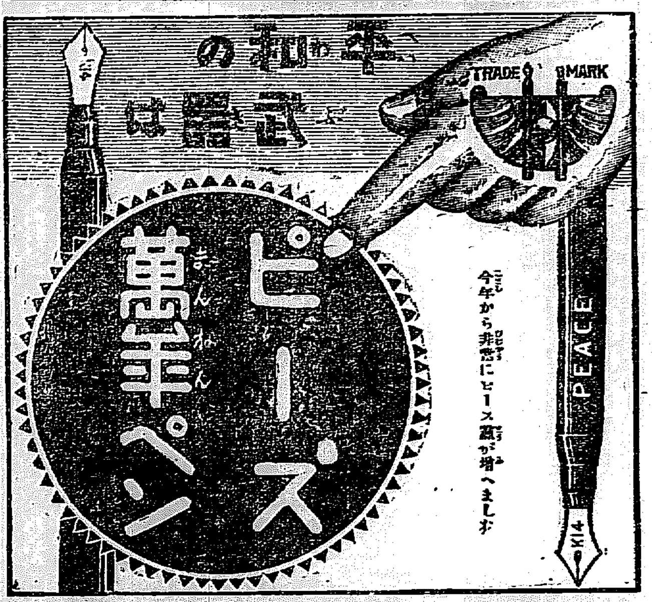
四、投票期限は大正七年二月二拾五日限りの事

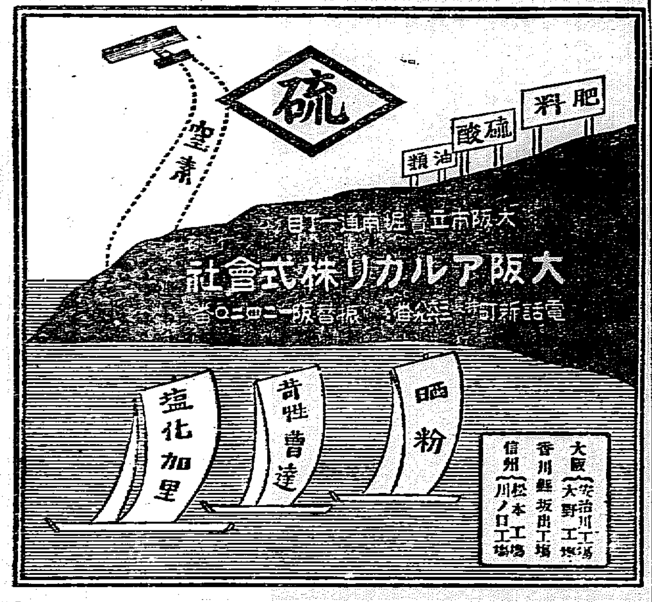
五、入賞者は三月十日の本紙に發表同時に賞品を郵送す

參考 投票の一番多かつた廣告は其料金を無料に致します

新聞通信廣告代理業
大阪電報通信社 廣告部
大阪市東區今橋五丁目 電話本局 三九九九九〇九 一二二四







京城日報
第五版
二月十五日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 [illegible]

仁川米豆取引所 十四日後場
[illegible]

支那の政情
京城日報

[illegible]北京を出でゝ、[illegible]するや、世間皆支那の政治上[illegible]を見るべしと爲し、或は[illegible]氏は南京に其居を占めて、南北を[illegible]するの計を立つべしと思惟する者もありたれども幾くもなくして、半途歸還し、却て己を罪するの宣言を爲して、南方討伐の命を示す。其事一々意外に出るがごとくなれども、今日の情形の下にありては、是れ亦已むを得ざるの事たるべきか。

昨今世上に傳ふる所を以てすれば、北京に於ける政治上の實權は馮總統にあらず、王總理にあらずして、却て段祺瑞氏にあり、段氏は表面上政府に立たずして、只參戰事務を處理するといふ閑事業に從ふのみなれども、今日は則ち北京に於ける主戰派全盛の時代にして、[illegible]を生命とする所の馮總統すら、一々主戰派の意思に追隨するといふ有樣なれば、其他は言ふに足らず、若て某國は、支那南北の間に周旋して、調停を行ふべしと傳ふるものあり、南人北人共に之を心當に、各々勝手なる熱を吹き居たるが如くなれども其實某國は、調停の意思なく、只其の自然の成行を袖手傍觀するに過ぎざるを以て、今日となりては北京政府は、只南方討伐を決行するの一途あるのみ、段氏は本來武力解決の主張なり、是れ即ち世人今日の北京の實勢力を占むるものは、段氏なりと爲す所以なり。

併しながら大體より之を觀るときは、妥協派、主戰派共に敵ふべからざるの弱點あり、馮氏一派の妥協論者は、南方と互讓して以て其局を全くすべしと爲すと雖も、南人は自ら首領となりて、全支那を一統せずむば已まず、從て其要求條件は到底北人の容るゝ能はざる所たり、特に北京政治家中に、妥協を說く者あるに從て、南人の要求條件愈々增加し來るの實あり、是れ妥協論者すら、其手を著くる處なきに苦み、遂に一時的若は、部分的討伐を行ふて以て、南人の氣勢を挫き、而して後に穩當なる條件を以て、之と妥協すべしと爲すものある所以なれども、其の討伐が一時的なり、部分的なりといふことが世間周知の事實なる以上は、誰とて之を畏怖するものはこれ無く、折角の策謀も、至も南人の氣勢を挫く能はずして已むべきや言を待たず。

然らば武力解決は、則ち如何。北京政府にして、其武を揚ぐるだけの實力あらば、此計必ずしも不可なりとせざれども、何分にも軍費なく、武器なく、其兵士も亦精神と技能とを缺くが爲めに、假令討伐を試むるも、失敗に終らざるべからず、昨年段祺瑞氏が總理を辭したるは、其討伐軍の失敗に基れ由り、最近岳州の陷落の如き、亦主戰派に取りては、一大頓挫たり其若し計數上より云はゞ、南人は到底北方に敵すべからず、而して猶且北軍屢ば敗るゝは、甚だ奇なるが如くなれども、今日の支那兵なるものは、強ち理數を以て之を計る能はざる所以のものあり、只支那人甚だ爭を好む、彼等は一日たりとも爭はずして過越す能はざるなり、妥協派、主戰派共に支那を一統するの力なしと雖も、猶ほ互に相爭ふて降らざるを得べし、世間或は段氏再び政局に立つべきことを云ふ者あり、蓋し然らむ、併ながら、何人が政局に當るも、當分は徒らに混雜に混雜を重ぬるの外あるべからず。

遊支偶錄
（廿九）楚材晉用
蘇峰生

楚人は沐猴にして冠すと稱すれども、支那に於ける人物の產地としては、先ず指を楚に屈す可し。春秋時代にも、楚材晉用の語あり。其の人物の輩出したるや知る可し。楚の百里奚は、秦に仕へて、秦を覇たらしめたり。楚の伍子胥は、呉に仕へて、呉を覇たらしめたり。楚の范蠡、大夫種等は、越に仕へて、越を覇たらしめたり。楚は此の如く、政治方面に於て、人材を產したるのみならず、思想及び文藝の上に於て、尤も其の光彩を放ちたり。乃ち孔子の好適手にして、其の實際に於ては、寧ろ孔子以上の大感化力を、發揮したる老子の如きも、楚の苦縣厲鄕曲仁里の人也。莊子の如きは、其の產地は、宋の蒙縣なれども、亦た半生は楚に在りて、歸化楚人と云ふ可きに庶幾し。乃ち荀卿の如きも、亦た楚の蘭陵令たりし也。所謂戰國策士の本尊たる、鬼谷子も亦た、楚人也。而して詩經以後の大作家たる屈原の如き、醇粹の楚人にして、離騷は實に楚の地方的、特有的文學と云ふも、過言にあらず。されば清の洪亮吉は、「天地之氣、盛于東南、而楚之山川又奇傑偉麗、足以發抒人之性情、故楚材輩出。」と云へり。

其の理由の何れにあるにせよ、楚の人材多きは、古に於て然るのみならず、今に於ても然り。長髮賊の亂の如きも、若し曾國藩兄弟、及び其他の楚材なかりせば、天下の事、未だ知る可らず。清朝の末期、國運艱難の際に於て、左枝右吾、稍々小康を得せしめたる李鴻章の如き、亦た安徽合肥の產にして、廣き意味に於ては、楚材の一と云はざるを得ず。而して其の第一革命が、三楚の雄鎭たる武昌に爆發したるも、亦た一奇と云はざるを得ず。

海外銀行の活動と朝鮮銀行（四）
京都帝大に於て　美濃部總裁講演

朝鮮以外の業務に關しては創立を共に滿洲安東縣に第一銀行より引繼ぎたる一支店を有するに過ぎざりしが大正二年に至り大連奉天長春の三店を開き爾後南北滿洲に

△數多の店舗を設けたる
外に於て橫濱正金銀行の滿洲に於ける業務の一部を繼承せると共に新に三店を增設したる結果現在に於ては南北滿洲を通じて十五の店舗を算するに至れり右の外內地に於て東京、大阪、神戸の三店を有するは前に一言せる所にして尙當行は大正五年に至り久しく露領滿洲に營業し來れる松田銀行部を買收して之を準支店と爲し亦昨年十二月靑島に一支店を設けたり當行が支那本部に於て支店を開設せるは之を以て嚆矢とす即ち當行の本支店を合するときは現在三十二店及び一準支店を算し本邦銀行中最多數の店舗を有するものゝ一たるに至れり更らに朝鮮銀行業務の發達に關し之を

△數字に依りて證明せん
か當初資本金一千萬圓、拂込資本金二百五十萬圓を以て其の業務を開始せしが昨年中之を二千萬圓に增資し今回の新株第三回の拂込金を以て現在拂込金千七百五十萬圓に達せり預金は創立の翌年末に於ける五百九十萬圓より[illegible]貸出金は同期間に於て二千二百萬圓より一億二千二百萬圓に增加し銀行券發行高は創立初年末に於ける千三百萬圓より昨年末に於て六千七百萬圓に激增するに至れり即ち七年乃至八年間に於て拂込資本金は七倍し

△預金は十五倍
し貸出は六倍し銀行券發行高亦五倍せるの盛況を示せり更に其の貸出金を朝鮮、滿洲、支那本部及び內地に區別するときは朝鮮凡そ四千九百萬圓滿洲約二千四百萬圓支那本部百三十萬圓及び內地四千八百萬圓の割合なり尤も內地の所謂貸出の內には「コール、マネー」に屬する一時の放資少からず茲に陳べたる如く昨年末滿洲に於ける金券の統一は固より帝國政府の方針に基く所なりと雖も之に依り滿洲に於ける當行の地位は一段の向上を呈するに至り滿洲の經濟上一層重大なる責任を負擔するに至れり蓋し滿洲の貨幣市場に當行券を流布せんとするの企圖は當行が初て滿洲各地に店舗を開設したる以來最も苦心努力し來りたる所なりと雖も今次政府の聲明に依り當行は

△滿蒙に於ける中樞機關
として右企圖を遂行すべき任務を負擔するに至れるものなり惟ふに滿洲の幣制は錯雜を極め通貨の多種多樣にして其の間互に其の價値を異にせる等殆んど吾人意料の外に在りとす而して滿洲に對し金券の流通を多からしめ且金建取引を普及せしむるは日支兩國幣制の相違より生ずる幾多の不利不便を免れしめ單に我國のみならず滿洲自體に對しても大なる利益を齎らしむるものなり

募集要旨

我社今回の防寒建築案募集は、住宅を主として計畫發表したるもの。特に中流階級の住宅を標準としたるは、相當の資力あり提案採用の實行者、比較的多數なる可きを豫期せるが爲めである。茲に應募者諸君の參考に資するが爲め、左に我社今次の募集要旨を摘載す。

◆建坪　四十坪乃至五十坪迄　但し二階建設計の場合も延坪が此範圍より甚しく超過せざる事

◆家族　夫婦老人一子供三女中一計七人暮し位の立案

◆提案　平面圖、正面圖、設計說明書等を具備す可し

◆工費　坪當り百圓內外とす

◆特案　特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書

◆寒度　京城＝平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

（1）一人一案に限る＝（2）應募者諸君の提案標準は、應用者最も多き中流家庭の住宅を定則とするも、旅館、料亭等は特別建築として審査を除外す＝（3）應募者は必ず一葉の平面圖、正面圖及び之が設計書を附せられたし＝（4）應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし。但し入選の場合紙上發表の際は希望に依り匿名并妻へなし＝（5）締切期は來る三月十五日とす＝（6）發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄設計圖、斷面共に京城日報紙上に掲載公表す＝（7）應募者は『京城日報社編輯局建築案係』とし封筒表に必ず「防寒建築提案」と朱書ありたし＝（8）提案原稿は返戾せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の割當を以て我社は發表の當日賞與金を贈呈す

一等（一名）金百圓　二等（一名）金五十圓　三等（二名）金十圓宛

忘機吟壇

雪中聞鶴　大石　松逕
仁南日暖雪將晴。遠浦近巒堆水晶。忽自九皐淸唳響。千金難買此三聲。
評曰　雅意眞篤

牧馬圖　安永　春雨
綠野生烟躍玉驄。華山氣象畫圖中。驍騰龍性忝堂牧。何日沙場成大功。
評曰　與郝經將軍正欲成勳業、看汝驍騰展驥才句、異想同工。

新年雅會　圓山　牧雲
歲回天地改。吟屋瑞祥封。消世託風雅。朔邊欣燕雍。酌來瓶裏酒。賦得海邊松。試筆華箋上。墨痕飛若龍。
評曰　筆力蒼勁、氣象雄偉。

新春寄人　竹田　燕浦
雪裏梅方發。鶯兒樹上歌。春激蕩。獨酌奈吾何。
評曰　寫景新麗、含俊無極。

做雪午齋　笹島　紫峰
同雲釀雪少時晴。翠竹靑松分外淸。和煦日消遙巒色。澹恬風靜午雞聲。翕收紙帳敲茶臼。如搗珠璣勸酒餅。料識溪南芳草綠。明朝走馬出山城。
評曰　北條鷗所有此題五律其後半曰、走馬任豪客、深泥又一城、來朝踏靑路、弄逐履痕生、高作情味尙永略約相似。

どうして　七十
布施生譯

打合せの外の事なので國栖は呉驚いてあつと一齊飛上ると親父はそれに釣込まれて吾知らず何だ〳〵と云ひながら窓際に首差伸す處を一分の隙もなく探偵長と其部下とは戸口を壓さあけて飛込みさま〳〵喃親父に飛蒐り否應言はせず押へ付けた、不意を打たれて流石の親父も抵抗の暇なく脆く俯向に押へられたが歯を喰縛つて「畜生〳〵、やい瑠璃、此餓鬼め、皆手前が油斷からだ、うゝん一つ思切り打擲いてやりたいなあ」と罵ろうちに不意に思付いた事があるらしく必死の力を籠めてさしもの三人をずる〳〵と引摺り瑠璃子だと思つた國栖の耳に口をつけて「おい早く往てあの赤丸を消しておけ」

國栖は猶も顏を背向けながら言はれた通り其印を消しに往つたが軈て親父が悉皆擒られて仕舞つたのを見てとると衣囊から先日拾つたまゝの赤い白墨を取出して舊の通り印をつけた、國栖は此時不圖思出して先刻の光は何だつたらうと窓から首を出してみたが街は寂然として火事かと驚いた其光もない、國栖は狐に抓まれた思をしながら默つて座に歸つたが探偵長は一向知らぬ顏で八重縲繫けた親父を隣部屋に連込ませ自分達も其處へ退いて目的の兄の歸宅を待つ役目は專ら國栖の手腕に任せた。

彼是半時間經つたが兄はまだ歸つて來なかつた、こんなに長く出て居る事は之まで嘗て無いやうに思はれて國栖は何時間こんなに緊張した心持で待つてゐねばならぬ事かと稍呆れかけた途端、無遠慮に廊下を踏鳴す足音が聞ゑて兄奴何か焦慮てゐると見ゑ無性に拳を振上げて其邊中を叩廻しながら二階に上ると用意もなく部屋の戸をどんと開けて飛込んだ、瑠璃子に化けた國栖は見向もせずに窓から戸外を眺めてゐると兄は戸口から一尺ばかりの所に足を停めて不審さうに部屋を見廻し「おい親爺はどうした」と尋ねかけたが國栖は輕く頭を振つた丈でうんともすんとも對手にせず矢張り窓の外を眺めたまゝで濟してゐた、兄は焦慮出して擬太な洋杖をどんと舗板に突立てながら「おい何だつて己が物を言つてるのに瘖啞ぢやあ有るまいし碌々返事もしやがらねんだ」威丈高に詰つたが國栖はそれにも聽じない、兄はぐつと急上げながら其癖何となく虫が知らして氣味が惡かつたものと見ゑ今にも飛蒐りさうな氣色で國栖を睨付けるばかり手出をする樣子もない、國栖は突然立上つて戸外の人に合圖でもするやうな手眞似をしてみせた、兄は扨はと思つたらしく憤然として畜生と叫びも敢へず其巖丈な洋杖を振翳して飛蒐つたが此時丁度飛込んだ警官達に押伏せられて藻掻く間もなく親父同樣蒜々と縛られて仕舞つた、國栖はそれを見濟まして今迄冠つてゐた女の衣服や假髮を脫棄て、本來の國栖に立歸つた、兄が驚いて眼を睜つた事は言ふまでも無い。

公示催告
大正七年申第一七三號
京城府南大門通 申立人 朝鮮銀行 代理人 [illegible]
一、慶尚北道[illegible]出 振出人[illegible] 金額[illegible] 受取人[illegible] 振出日[illegible] 支拂期日[illegible] 振出地 京城 支拂地 京城 [illegible]
但最終ノ所持人[illegible]
右證券ニ付申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ依リ其所持人ハ大正七年八月三十一日午前九時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且其證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出ヲ爲サヽルニ於テハ其證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正七年貳月拾貳日
京城地方法院

商業登記
株式會社漢城銀行 任期滿了ニ因リ退任シタル取締役[illegible] 大正七年貳月八日重任
右大正七年貳月拾參日登記
京城地方法院開城支廳

兒童募集
來ル四月一日入學セシムベキ兒童 尋常科第一學年男女約五十名 第二學年男一名女五名 第三學年男五名 第四學年男一名女一名 第五學年男八名 第六學年男二名女十五名 當日二月二十一日ヨリ願書受付 詳細ノ手續ハ問合スベシ
大正七年二月
京城中學校附屬小學校

大割引書籍目錄
◉無代進呈 ◉任復業書申込の事
內容 一千種割引特價品二千種 最近新刊雜誌其他掘出物澤山
◉調査 ◉振替東京五壹六壹番
實費十二錢 東京九段下 讀書俱樂部
分類圖書目錄

募集日鮮人
外務員 代理店主
資金を要せず事業月收五十圓以上其他に於て爲し得らるゝ希望者は履歷書を特別の手當を附し京城府南大門通五丁目六八東京市京橋區北槇町二番地
勸業債券 月賦販賣
朝鮮京城府南大門通五丁目六八 日本商事合資會社 京城總代理店
電話長一四六二番
代理店は一邑に一名 外務員二名

サント萬年筆
字探し集募
問題 此の廣告中に萬の字幾字あるか
賞 解答及選 主趣方法
正解當選者一人一本限り賞品 定價金壹圓參拾錢 サント萬年筆ペンクリップ、スポイト附美術箱入五百本を提供す
解答はハガキに限る 大阪市本町 サント製作所 二月廿八日限 當選者に通知
[illegible]

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
支配人 西村道彥
京城府本町二丁目（電話[illegible]）

寶生流解說備考本 大割引提供
貳月拾日より三月廿五日迄の御注文に限
校閱者
寶生重英先生
松本長先生
野口政吉先生
（頭註評解）文學士 鈴木暢幸氏擔當
（附訂）工學士 山崎樂堂氏擔當
謠本を合せて必ず持て
謠文全部に對し難解字句に正確なる註解を付し能ふ限りの說明を…[illegible]
旣刊以後定價
故寶生九郎先生最後の改訂（第一卷、第二卷出來）

寶生流 旅之友
旅行携帶用の新最謠本は是なし
本書は寶生流謠曲大成の重版なれども頗る精密なる直し入りの最新謠本なり、全部を八卷として絕好。又稽古用として最新の節附なれば旅行用觀能携帶用として謠曲家の便此上なし
出來期限 第一、第二、第三、第四卷旣成（二冊にて金三圓八十錢送料八錢）第五、第六來る二月廿五日出來（同上）第七、第八 六月廿五日出來（同上）
及び定價

喜多流 謠曲大成
喜多六平太先生校訂（全部四卷の內第一卷旣成）
拾番綴本以上の謠本
本書も喜多流謠曲大成の重版なれども節附は全部拾番綴中本に依り更にそれ以上の訂正を加へ、草紙洗、小町を增補して漸く成れるもの、同流中最良の謠本にして旅行用觀能携帶用として同流謠曲家必携の書なり製本優美堅牢印刷も亦鮮明なり
出來期限及び定價 第一卷旣成……定價金參圓貳拾錢（送料八錢）第二卷 來る二月十日出來（同上）第三卷 四月十日出來（同上）第四卷 六月十日出來（同上）

寶生流 五番綴本 月賦提供
從來の稽古本及び揃本は全部木版刷にして時の進展に伴ひ漸次欠陷を發見するに至れり、依て茲に大改訂を行ひ謠義附中本に倣つて半紙本を石版刷となし節、附に大訂正を施し諸士の稽古に便せんとす、謠本の可否は謠の上達に大關係を有す
月賦方法（市內配本は引換に御拂込地方は前月迄に御送金を乞ふ）
一月十五日を第一回とし一回六冊（三十番）配付、以下毎月十五日發賣 七回（七月十五日）分を以て完了
定價上製一回分拂込金三圓八十錢並製一回分貳圓八十錢
割引規定
◉寶生流解說備考本は上記期間內に左の條件にて御注文に限り一割引
◉他の三番以上御注文に限り同一割引
五部以上御注文に限り同一割五分引
十部以上三十部 同二割引
卅一部以上 定價の三割引
全部完成迄上記規定を適用す（但前金にて不足の場合は（但し千部限り若し超過の時は斷絕）
發行所 東京日本橋通四丁目 わんや謠曲書肆
電話本局壹壹七四番 振替東京四壹六參番

第四十回帝國議會 (東京特電)

貴族院 (十三日)

▲本會議 (前刊より續く) 右に對し石黒忠悳男、鎌田榮吉氏の質問あり勝田藏相之れに答へ更に鈴木兵衛氏、阪本彭之助氏、勝田藏相との間に戰時利得税率に關し問答をなし委員十八名附託、臨時國庫證券法中改正法律案に付勝田藏相の説明あり委員附託、[illegible]整法中改正法律案、勝田藏相提出理由を説明、阪本彭之助氏簡單に質問をなし委員附託、登錄税法中改正法律案に付き勝田藏相の説明ありて委員附託、遠洋漁業奬勵法中改正法律案、仲小路農相の説明あり委員附託、軍用自動車補助法案に付き大島陸相の説明ありて委員附託、鐵道敷設法中改正法律案、足尾鐵道及び有馬鐵道の買收に關する法律案、後藤内相の説明ありて委員附託、朝鮮事業公債法中改正法律案、樺太事業公債法中改正法律案、勝田藏相の説明ありて委員附託となり、午後四時二十五分散會せり(帝國通信)

▲豫算總會 十四日午前十時七分開會、淺田[illegible]木正副委員長以下委員五十六名、政府より首相以下各政府委員出席質問を一般政務、財務、國防、外務、産業、教育其他に別ち通告順に依り許可する事として先づ

▼江木千之氏 大藏大臣は衆議院にて增税案議事の際「名案あらば是れに從ふものなり」と言明せしが若し貴族院にてより以上の名案あらば是れに從ふや否や然らば政府は本院の議決を無用とするの結果を呈すべし如何

▼勝田藏相 衆議院に余の述べしところは財政の骨子となるべき主要點に對する方針にて項末に至りては之れを固執せずと云へるのみ故に貴族院にて政府提出案根本義を破壞せざる限りに於て名案あらば是れに對して考慮すべし

▼江木氏 果して然らば藏相が本院の議を經ず單に衆議院の意見を聽きて自説を放棄せしは如何

▼勝田藏相 衆議院は税制整理に對しては反對せず唯是れを戰後に延期するを可とするのことなれば主義に於て同一と見做し是れに同意せしなりと答へ江木氏更に藏相の衆議院否定せるを攻撃するや勝田藏相は前言を繰返すのみにて要領を與へず兩者に數次の押問答あり次いで木村誓太郎氏と藏相との間に豫算編成に關する問答あり次いで

▼阪谷芳郎男 大藏大臣は衆議院否定に同意せる以上何故に否決せらるべき法律案を撤回せざるや大藏大臣は衆議院にて否決されし歳入は主要のものにあらずと云はれしが果して然るや

▼勝田藏相 否決されし法律案を撤回せざりしは衆議院の審査未了の爲めにして又政府は歳入を輕視するにはあらざるも府の根本方針とする所は歳出にあるを以てなり

▼阪谷芳郎男 抑も關税收入には二つの系統あり一は内地に入り一は朝鮮の其れなり、政府は朝鮮の關税制定後十年迄は改廢せずと言明せるが其滿期は最早近づけりされば此際此二系統を統一して不便を除くの意なきか又關匪事件の損失は全部預金部の負擔となるものなりや如何

▼勝田藏相 關税の統一は確かに必要と認む其方法は目下調査中なり而して關匪事件の預金部の損失は極めて少額なりと認むと答へし次いで木村誓太郎氏及び江木千之氏の減債基金五千萬圓に就ての質問あり之れに對し勝田藏相より減債基金五千萬圓維持は必要と認む併しながら國防充實の爲め其の一部を割くは已むを得ずと認むと答へ質問未了の儘正午散會せり

衆議院 (十四日)

▲本會議 不信任案上程

憲政會の内閣不信任案上程の衆議院本會議は豫定の如く十四日午後一時より開會す傍聽者は午前十時頃より通用門内に蝟集し開會前已に千名を註せられ、滿場寸尺の餘地なし、貴族院議員傍聽席には例の如く德川議長を初め目白押しに押し列べり斯くて定刻を過ぐること十五分大岡議長は寺田書記官長を隨へ着席すれば寺内首相を先頭に各大臣亦國務大臣席に着席す、議長は新當選議員岡田榮氏を紹介したる後書記官をして諸般の報告を成さしめ茲に開議を宣して日程に入り

▲地租增更免税年期に關する法律案 右に對し松本政府委員の説明あり九名の委員附託

▲徴兵令中改正法律案 大島陸相の説明に對し案安新九郎氏(憲政)の質問あり陸相之れに答辯し十八名の委員附託

▲韓國貨幣の處分に關する法律案 白仁拓殖局長官の説明あり九名の委員附託

▲大正五年法規第四號中改正法律案 委員長大堀孝氏簡單に委員會の經過を報告し議會省略可決確定を敬義、議長は憲政會の提出せる不信任決議案を議題とし書記官をして案を朗讀せしむるや否や

▼武富時敏氏 登壇、今日本議會の大多數は現内閣を擁護する者にあらず或黨派は時局重大なる故に姑く隱忍すべしとなす而も吾人は時局重大なるを以て一日も現内閣の存在を許すべからずとなすなり現内閣は對支外交に於て一派の軍閥を擁護して支那人の反感を買ひ大正七年度豫算は其の根本を改廢されて何ぞ恬然たるは閣臣の責任を解せざるものなり(此時居據りは如何と彌次る者あり)國防計畫は一年度限りにて豫算を認めたるも議會は更に根本的に其計畫を立て直すべきを要求せり斯の如く孤立なる内閣が時局に當り大政を補弼するを得べきか宜しく速に處決せよと政友會側彌次の裡に降壇すれば次いで

▼小久保喜七氏(政友) 登壇、現内閣の主要なる計畫は軍備の充實に在り其の序を以て税制整理をなせり國防計畫に就ては議會之を認め又其財源を認めたり税制の整理は今日の時機にあらずとするのみ主義に於て反對せるに非ず政府が讓歩したるが何故に不信任案の理由となるや讓歩せざる場合にこそ不信任は成立すべきも衆議院の意見を容れたる場合に不信任を呼ぶは寧ろ不可思議なり第四議會に於て渡邊藏相が一錢一厘も減ぜずと云へるため衆議院は上奏案を提出せり其提出者は河野廣中氏にあらずや又第二十六議會に於て地租增徴案の妥協に贊成演説をなせるは尾崎行雄君なり其時の首相は憲政會の創立者桂公にあらずや武富君は更に何ぞ其の讓歩を要求したるにあらずや然るにも拘らず自己の都合次第にて主張を二三にするは勝手の沙汰なり尾崎君等は歐洲出兵問題に關し政府の失態を叫ぶも尾崎君が内閣に居るの當時外務當局が之れを拒みたる事實あるに非ずや又尾崎君は山本内閣の當時海軍擴張には贊成なる内閣に信任なき故否決すべしと云へり今憲政會は國防費に協贊を與へつゝ政府の不信任を呼ぶは時遲れたり(夕刊に續く)

新政會分裂す 幹部に對する不平より

新政會幹部の行動に不滿を抱ける一派は十三日夜金杉英五郎、尾崎敬義、若尾璋八氏等二十四名結束して全部脱會届を出したるが結局更に一二名を增加し新たなる交渉團體として行動すべしと(東京特電)

押川製鐵長官 辭表を提出す

鋼片拂下げ問題に關し衆議院本會議に於ける答辯に於て仲小路農相と押川製鐵所長官と見解を異にしたるが押川長官は十三日病の故を以て農相の手許迄辭表を提出し引籠り中なり(東京特電)

米國將校通過

米國鐵道隊附大佐二名少佐一名中尉五名は十四日午前十時半當地通過長春に向へり(安東縣特電)

聯合國に最後通牒

獨逸は西部戰場にて大攻勢を取るに先立て聯合國に對し講和の最後通牒を送るべしと(巴里電報)

獨軍重砲隊集中

獨軍は西部戰線に重砲隊を集中し近く一大活動を開始すべしと(倫敦電報)

獨英軍作戰偵察

獨軍は險惡なる天候を利用し盛んに此の數日間英軍戰線に砲擊を加へつゝあり之れ獨軍が空中偵察を試み英軍の新たなる作戰計畫を知らんとするものならんと解せらる(倫敦電報)

農産物工業品交換 獨逸小露西亞講和條約

小露西亞と獨逸との間に締結されたる講和條約は兩國間に農産物及び工業製品の交換を規定し代價は兩國聯合委員によりて協定し支拂ひは獨逸金貨一千馬克に對する前露國金貨四百六十二留又は墺匈金貨一千クローネに對し三百九十三留の割合(金貨)にて支拂ひ物品の交換は中央局を經て行はるべし(アムステルダム電報)

海底線使用解禁

和蘭海底電信使用は豫て禁止中の處今回一時解除することゝなりたり(倫敦電報)

永田理事長

上京中なりし永田採木公司理事長は十四日午後五時半歸安せり(安東特電)

荒唐無稽 平壤鑛業所の東拓委任經營説

總督府の經營に係る平壤鑛業所は政府にて今回東洋拓殖會社に委任經營せしむべしとの説を流布する者ありとの事なるが右は全然虛妄にて事實は本紙に既報せし如く東洋拓殖會社援助の下に平壤にモンド瓦斯製造の一會社を新設する事に略決定し居り該會社は平壤鑛業所より若干量の石炭配分を受けモンド瓦斯の製造に充當せんとするの議内々進行しつゝあるを好事家が無法にも鑛業所の東拓委任經營など大袈裟に傳へたるものなり事實吾が海軍に動力を供給する平壤鑛業所は六七兩年度の繼續事業として總督府事業として些々擴張施設を加へつゝあり海軍用として缺く可からざる煉炭の原料無煙炭の採掘を一會社に委任すべしとは到底信ぜられざる事たり尚ほ東拓援助のモンド瓦斯製造並に該モンド瓦斯の動力を供給して某事業を經營する事に就ては尚ほ報道の自由を有せず追つて詳記する事とせん

立花師團長動靜

立花第十九師團長は大邱歩兵第八十聯隊初年兵教育狀況視察の爲め師團副官佐藤氏を從へ十三日午後四時九分著列車にて大邱著雕家旅館に投宿し十四日午前中聯隊の視察を爲し午後十二時二十分發行列車にて三浪津を經て馬山に到り更に鎭海を視察し再び馬山三浪津を經て釜山東萊に赴き視察の上歸任の筈なり

朝鮮地税の整理 土地調査進行の結果、主眼は課税の公平を期するにあり

臨時土地調査局にて永年鋭意調査の進行を圖れる鮮内耕地の

▲地位等級 審査並に所有權の境界の決定は大正七年を以て終了の豫定なりしも進捗豫期以上の速度を出せしため既報の如く昨年十二月二十八日を以て完了したるが右の結果大正七年度より朝鮮地税の改正整理を行ひ結局總督府の地税歳入は百五十八萬餘圓の增徴を來す事となり居れり右は朝鮮特別會計豫算面に現はれ既に十二日下院の本會議を通過せしが右に付當局の談によれば朝鮮の地税は年額一千萬圓にて其の課税標準は一定量の收穫を得べき

▲地積の稱呼 たる結に基づき結は土地の肥瘠により異動あり之れを六等に分ち一等は三千餘坪二等三等と漸次地積を擴大し六等に至つては一萬二千餘坪となり居れり然も此の結なるものは數百年前の制定に係し極めて不完全のものたり其後時々改正を加へたるも依然正確を缺きゐたり乃ち茲に一耕地あり而して其の土地所有者は接續せる未墾地を開墾し耕地とせるも課税を免かれ居るものあり若くは出水等のため課税されつゝある土地が砂礫等に覆没し耕地の價値を失ひ居れるものにて依然として課税せるあり要するに其の課税概ね

▲不均衡 にして大整理を加へざる可からざりしが今回土地調査施行の結果地位等級の査定終り土地臺帳の府郡備へ付完了せしを以て七年度より地税の賦課に大改正を加へんとするものなりため從來調査の不完全により課税を免れゐたる南鮮某農場の如きは從來に比し三倍若くは四倍の地税を負擔する事となる由にて其他課税の增加を見る者少なからざるべきが一方税額の低減を見る者も多く結局從此約百五十餘萬圓の增徴となるものなるが過日の本紙に和田土地調査局事務官の談として掲載せし朝鮮の

▲耕地面積 は土地調査の結果四割の增加を來せりと云ふに付き面積の增加だけ課税の增徴を行なへば約四百萬圓の增收となるべきも當局にては增税のための地税改正に非ず課税の公平を保つための地税整理に付前記額の增收に留めたるものゝ如く從つて今回の地税改正に就ては大農場何れも不平の聲なしと尚ほ土地調査局の查定せし所有權並に

▲境界に不服 を唱へ高等土地調査委員會に申告せる土地に對しては其裁決を終る迄課税せず而して裁決を終りし時は査定當時に遡り徴税する事となり居れりと

外交官イ市急行 イルクツクに日本領事館設置か

イルクツクに於ける事變の爲め在天津佛國西比總領事は北京より米國公使館附武官は哈爾賓より共に同市へ急行したるが我杉野副領事も山中書記生を隨へ十二日夜同地に向け出發せり、右は多分同地に日本領事館を設置するの前提ならんと(哈爾賓電報)

浦莫間鐵道守備 米國陸軍大佐ハンスキン氏哈市行

米國陸軍大佐ハンスキン氏外七名及び下士卒三百八十八名は其筋の命に依り昨年十二月九日桑港發、滿洲航路に依り一月十九日長崎著、下士卒は同地に滯在し幹部八名は去る十三日十四日朝來哈爾賓に向ひしが同地に於て幹部を打合せの上浦鹽、莫斯科間の鐵道守備をなすべく下士卒は不日出發すべしと(哈市特電)

組合費納入 好良

京城府財務係の發表する所によれば大正六年度京城學校組合戸別割の徴收成績は例年に比して著しく良好なるが今六年度戸別割調定額に對する納入歩合を各期別につき前年度に對比すれば左の如し

	六年度	五年度	昂上歩合
一期	三、七二	三、〇六	〇、六六
二期	三、八九	三、一三	〇、七六
三期	四、九八	三、六九	一、二九
四期	六、一〇	三、三〇	二、八〇
平均	四、六七	三、二九	一、三八

即ち六年度中納入歩合の平均は四割六歩七厘を示し前年度より一割三歩八厘の好成績を擧げたる譯なり而して前年度四期分戸別割未納者に對する督促状は五年一月末日の法定納期に對し三月廿七日の發付にして此の猶豫期間五十五日なりしに拘はらず七千十七通の督促状を發付し六年度四期分未納者に對しては本年二月十日督促状を發せるに依り此の猶豫期間十日にして督促状發付數六千三百八十一通を算せり是れに依つて之を觀れば六年度四期分は前年四期分より其の督促發付期を四十五日間早めしに拘はらず其の發行通數に於て約七百通を減少するを得たる譯なり

會社設立許可

資本に代表社員山田鑫太郎氏より合資會社壽洋行設立許可申請中なりしが二月十二日附を以て許可の指令あり同社は資本金五萬圓にして本店を京城に置き染料の加工、染料及び工業用品の賣買其他の業務を營むものなりと

久芳課長歸任

人事打合せの爲め東上中なりし總督府人事課長久芳直介氏は十二日夜歸任せり

生井法官部長出張

軍司令部法官部長生井耕造氏は軍事司法事務視察の爲全羅南北道及び慶尚南道地方へ出張の筈なるが十五日龍山發二十一日歸任の豫定

人事消息

▲武市三郎氏(東京貿易會社員) 十四日夜入京天眞樓へ ▲野手耐氏(鐵道局副參事) 同夜不知火へ

百鬼百種

イルクーツク 過激派の本據と目されて居る丈け大分珍談も飛び出す▲此間も同市に住む支那人の醫者が市中を夕暮に歩いて居ると過激派兵士の殘黨とも見ゆる汚い軍服を著けた一人に出會はした▲すると早速オイ其の外套をよこせと睨み付けられた▲支那人の方でも見込まれたから仕方なしと思ひ切りをして▲宜敷承知した此の外套は渡すが斯う寒くては外套無しでは堪へられぬ▲で君の外套を我輩の外套の代りによこせと逆襲すると▲過激派君も早速承知したので支那人は時下五千留ばかりの外套と兵士の外套とを交換した▲而して家に歸つて兵士の外套を調べて見ると内ポケットに五百留紙幣で三萬留這入つて居た▲處が相手が泥棒と來て居るから行衛の知れやう筈がないので其儘の儲けものになつた▲多分此外套も何處からか攫つて來たものだらうと噂の樣な事實談が同地方から來た知人の書簡中にあつた

大阪だより

[illegible]增加の趨勢を示し乃ち大正二年度[illegible]せり去れば大正二年に於ける化學工業品の輸入は一億七千[illegible]年度の二倍額の輸出を見るは決して[illegible]戰行はるゝが如き有樣なりしが[illegible]は原料不足につれ値上げを見るに不足を告ぐるに至り加ふるに手腕の氣配を呈せしが昨今[illegible]

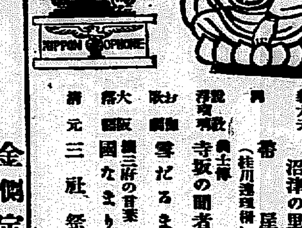
△米棉益々高況 五月當地四萬斤の取引あり一方追々需用期[illegible]

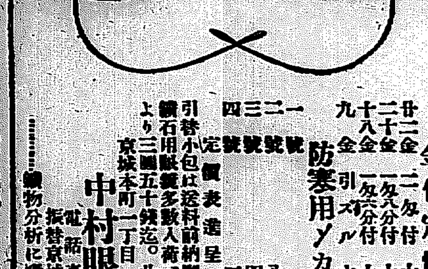
最近市場は目覺しき活氣を呈し來り候折柄貨は一段の激增を示し相場は近々一大奔騰を演ずべき好機運に向ひ候事と存候弊店は平素顧客本位を旨として堅實に取扱ひ來り候は大方諸賢の熟知せらるゝ處にして此際一層努力し定期取引及現物賣買に對し特別御便利に取扱申上候間陸續御用命の程奉希上候

東京株式取引所仲買人 公債株式現物問屋
東京市日本橋區坂本町二一番地
(木) 細野傳次郎商店
電話 浪花 [illegible]

石版彩色刷 (郵代送呈)
春季 種苗代價表
東京 [illegible] 日本種苗株式會社

特別三大寫眞 富十五日より 黄金館
四郎五郎延十郎大一座 舊劇 奴の勇力 首賣勘助 全四卷
伊國アンブロジオ會社大傑作 學術應用空前絶後 大活劇 新サタン 全五卷
▲絶海一孤島に於ける大怪事件 ▲英國政府派遣國事探偵大活躍
新派 五味熊谷一派最近撮影 新派大悲劇 戀時雨 全三十場

御待兼の二月新譜賣出

義太夫 伊賀越 沼津の里 竹本[illegible]
長唄 帶屋 (桂川連理柵) 竹本[illegible]
浪花節 寺坂の聞書 若松若太夫
浪花節 雪だるま [illegible]
お伽歌劇 國なまり [illegible]
大阪 三府の音樂 三社祭 [illegible]
京城本町二丁目二九 日本蓄音器商會 電話[illegible]


金側定價
廿二金 一匁付 十四圓九十錢
二十金 一匁八分付 十三圓二十錢
十八金 一匁六分付 十一圓二十錢
九金 六圓
防寒用メガネ 引ズル
一號 一圓三十錢
二號 八十錢
三號 四十錢
四號 二十五錢
定價表進呈 引替小包は送料荷紙上候 眼鏡石用眼鏡多數入荷、レンズ十錢より三圓五十錢迄。此他種々
京城本町一丁目 中村眼鏡店 電話[illegible] 振替京城二四六番
鑛物分析に應ず

…の勃興は特に著しきものなり今主…資本の調査を見るに化學工業に關…大正五年は二百〇二社一千四百十萬圓…に激增し六年には更に激增して二…百八十二社二千四百十六萬圓に達…あるを想見するに足るべし向後此…趨勢にして持續せば數年にして昨…

…及び貨車不足の爲め輸送困難にて…產地は貯炭多く個々貨車等にて大…輸送を受けたる時は需要者側の拔…

△石鹼類の値上 一般商品…

△造船稍や落付 一時大變…造船所設立を見たる爲め材料の…

△人肥多少軟調 人肥は…東京商の解淬を受けて愈強硬は望まれざるべし…

住宅問題

▽日本室の寒氣は 壁、床下から

床板に古材木を用ひる事は宜しくないと思ふ

大賀東京建物會社京城支店長談

私は朝鮮に來てからまだ日が淺く、朝鮮の建築についての見聞も甚だ狹いので、別に取立て、申し上げる程の意見もありませんが朝鮮に於ける住宅の建築といふことは私の方の營業の上から言つても大いに研究すべき問題だらうと思ひます、私は先づ思ふに京城のやうな土地の住宅として

△障子一枚で寒さを凌ぐ

に適しない純日本式の建て方がよろしくないと思ふ、しかも建築費その他の關係から現今ではこれに甘んじて居るの外はないが出來得るならば日本的の建築で完全に寒暑に堪へ得る住宅を造りたいものである、家屋の建築に方り防寒上に最も必要なるは外壁である、普通の住宅を見るに壁の厚さは大抵三四寸から六七寸に過ぎないがこれでは寒いのも無理はない、支那人の家を見るに外廓は

△土藏には煉瓦を積んで

その上に約一尺位の幅で砂利と小石で練り固めたものを積み上げ更にその外面に乾煉瓦を置いて累土で塗り潰してある、これは雨が降ると水を引いて溶け出すので困るが暖いことは確かに暖かい、これなどを參酌して壁を築いたら寒外い結果を得られることが出來るかも知れぬ、それから日本家屋の床板は見れないところだからといふので古板を用ひたり粗末な材料を使ふ人があるがこれは排る間違ひで

△日本座敷の寒氣は床下

から來ることが多いのであるから床板は確かりした木材を用ひて隙間の無いやうにし、その上に絨氈を引くとか疊の下に敷物をするやうにしたら餘程寒さが違うだらうと思ふ、兎に角少ない經費で比較的完全な住宅を造らうとするのだから隨分骨の折れることには違ひないが種々研究して行つたら面白いものが出來るだらうと思ひます

◇高普の氷上運動會 ―十四日東大門外にて―

讀者より

貴社の防寒住宅問題は誠に時宜に適したる好記事と存じ候斯くして北へ北へと大和民族の發展を現する事の誠に喜びに堪へざる次第に候就ては小生は更に一問題を提供致し度く存じ候と申すは我社員身の建築は其の外モウト原似に得らるる建物につき設計百圓內外さ有之ろに對して小生は其の建物なりたく希望致すものに有之候內外の建物に入る人は寧ろナンバンサラミにして防寒にも衛生にも防火にも自ら任じ得る人なれど自然の腕も多くは借家住ひなし加之多額の家賃を拂ふ人も少く從つて不衛生なる建物に甘んじて我慢せざる可からざる儀なき人の多しと存じ候然れども此の階級の生活狀態の如何は直接に國家の健不健を左右するものと存じ候間貴紙上より各種事業者に於て右の點御研究相成り一ケ月五、六圓乃至十圓內外の家賃にて住み得られ經濟上、衛生上、防火上の三點を具備する建物の出來る樣御考究相成度く存候(大和民族の一人)

▲この種の投書歡迎す

◉光瑞師病む

大谷光瑞師は目下香港にて病氣に罹り靜養中なり(大阪特電)

◉悲し、露國前皇后 發狂して恢復の見込み無し

西伯利亞トボルスクに幽閉中なる露國前皇后は一月中旬來精神錯亂の模樣あり同地精神病院の一室に監禁されたるが其後全く發狂狀態に陷り快復の見込み全然無しと(アムステルダム電報)

學校めぐり

▽京城女子高等普通學校

朝鮮女子界の未來の人々

在來の朝鮮の女といふのは家の中に引込んで裁縫や洗濯等をしたり小供の世話でもして居れば宜いのである。又それが女としての

◆重大な職務である

しかし時勢が變つて朝鮮の女子も在來の家庭に隨つて家庭を改良しなければならぬ又は交際もせねばならぬ趨勢に成つて女子としての常識を供へて置かねばならなくなつた。そこで今は朝鮮の女學校のオーソリチーたる京城女子高等普通學校が明治四十一年官立漢城高等女學校といふ校名の下に光化門通りに立てられたそれが明治四十三年

◆日韓併合とともに

總督府の直轄になつて京城女子高等普通學校と改名されて慶雲洞の今の校舍に移つた。そして本科、技藝科、師範科の外に附屬普通學校を持つてゐる。しかし朝鮮人の女學校は殊に家庭と聯絡を付けねばならぬ理由から是校では技藝科の中にも特に裁縫、家事、手藝に重きを置く。一體朝鮮人の裁縫と來たらその巧妙な點に於いては

◆世界一だといふが

成程その成績品を見ると中々上手だ。師範科は本科卒業生に尚一年間訓導としての資格を養成させるが朝鮮は今訓導の拂底時代であつて殊に女教員に於て甚だしいとかで師範科の卒業生は何處へ往つても優待されてゐるし相當な俸給もあるので每年師範科の入學志望者が殺到し切れぬ程多いといふ話である。

◆內地人も高等女學

校卒業生なら一緒に師範科に入れる事にしてあるが教授上にも又兩者の感情上にも少しも不便を感じないとの事である今までに技藝科三十三人、本科二百二人、師範科九十五人の卒業生を出してゐるがそれらの卒業生は或は教員に或は主婦になつて朝鮮女子界の牛耳を取つてゐるさうだ

◉俘虜が中間性になる ―四箇年の孤獨な生活から―

目下大分俘虜收容所には海軍少佐ウエーデル以下二百餘名の獨逸兵あり青島の日獨戰爭に大半山東省方面に居住し官吏又は商業に從事し居たるものなるより何れも妻帶者多くして獨身者少く之が爲め日本に俘虜として憂愁孤獨の身となるや痛切に武運の拙なきを喞ちゐるが

◆男性か女性か判らぬ者が二十餘名

果ては四箇年の俘虜生活中に自然生理的の方面に於ても著しき變化を呈し來れるが軍醫の言ふ所を聞くに俘虜の中には已に中間性的即ち生理的に於ては男性なるか將亦女性なるか殆ど區別のつかざるに至れる者二十六七名ありと(大分)

▼精神上に強烈な刺戟を 受けると分泌作用に障害を起す事が有る

右に就き京城醫學專門學校の某教授は語る『男性が女性になつたり女性が男性になつたりする事は生理上往々ある、その原因は種々あるが

◆多くの場合

內分泌と外分泌の何方かゞ多過ぎる結果である、元來此分泌は何方が多過ぎても不可ない、其處は巧く調和が取れて居るのであるが、其が何うかした拍子で――譬へば生活狀態が一變するとか精神上強烈な刺戟を受けたとかした場合に分泌作用に障害を起す事がある、直ぐ回復すれば好いが

◆斯麼狀態が

永く續くと終には人の『性』にまで影響を及ぼし來て、男は段々女らしく女は次第に男らしく所謂『中間性』と云つたやうな變挺な人間が出來上る事がある、此外には性慾から來るものゝ一種の誘惑から來るものなど澤山ある一體性慾は人間生活上の大問題で餘り度を過ごしても好くないが又全然禁止すると云ふ事も不可ない、生理上肉體上に

◆及ぼす障害

の度は何方も同じ事で、是又人の性に多大の影響を來す事になる、だから人間は必らず結婚すべきもので、一生嫁らず娶らぬと云ふ事は決して褒めた話ではない、大分の俘虜が變性したのは果して如何なる原因か判らぬが多分同性の愛と云つた樣なものでは別問題であらう』

◉女學生の髮斬り

京都市內に女學生徒の髮斬り出沒し被害者は可憐なる女學生十數名あり其筋にて嚴探中なるが犯人は怪しき老婆にて鋏みを提へ附け覘ひつゝある由(大阪特電)

◉馬賊移住鮮人を襲ふ

平安北道慈城江口より約一里半上流對岸輯安縣太和堡長興流に一月二十日午後十一時夜陰に乘じて銃器及び棍棒等を携帶せる馬賊の一團現はれ同地移住鮮人趙興稼方に闖入し同人及び家族等を毆打して重傷を負はせ金品を掠奪して逃走せしが趙は重傷の爲め翌二十一日遂に絶命せり太和堡朝鮮人組合支部に於ては右の情報到着するや三道保衞團に於ては一月二十三日午前七時巡査長以下八名を討伐の爲め出動せしめ翌一月三十日輯安縣知事は之が檢證の爲め司法衙記二名巡査一名を隨へ被害地に出張したり

◉村民餓死三百

飛驒之國坂下村は積雪の爲め薪炭食糧全く缺乏し村民三百名悉く餓死せり(東京特電)

◉大邱の老婆殺

嫌疑者三名逮捕さる

去る十日夕刻大邱府外達城郡達西面上里洞に於て住所氏名不詳の鮮人老婆を手拭を以て絞殺し現金十圓其他所持品數點を奪取逃走したる賊あり急報に接したる大邱憲兵分隊に於ては直ちに非常線を張り犯人嚴探中の處十三日未明最も有力なる嫌疑者三名(鮮夫婦及び其伴)を逮捕し目下分隊に引致取調べ中なり(大邱)

日報曆 (二月中下旬)

◆日の出入(京城時刻)

	中旬(十一日)	下旬(二十日)
日出	前七・二九	前七・一八
日入	後六・〇八	後六・一七
晝間	一〇・三九	一〇・五九
夜間	一三・〇一	一三・〇一

◇十一日 紀元節、舊元日、朔
◇十二日 さしびき
◇十四日 ぶつめつ
◇十五日 釋尊入寂、西行忌
◇十六日 天一天上、たいあん
◇十七日 日蓮上人誕生
◇十八日 新年祈年祭
◇十九日 上弦
◇二十日 雨水(京城時刻午後七時五十三分)
◇廿一日 ぶつめつ
◇廿二日 三隣亡、大安
◇廿三日 聖德太子忌
◇廿四日
◇廿五日 ともびき
◇廿六日 天滿宮忌
◇廿七日 滿月(京城時刻午後六時五十四分) たいあん日

◎京城倶樂部園遊會

京城倶樂部にては二十四日正午より會員の園遊大會を催すべく優勝者には一等より十等迄賞品を授與する筈なるが會費は一圓當日持參の定なり

◉公立農校生徒募集

▲春川公立農業學校にては本年四月入學せしむべき生徒四十名を募集せり詳細は其校に就き承合すべし ▲公州公立農業學校にては本年四月入學せしむべき第一學年生徒五十名を募集せり志願者は三月二十日迄に願書を差出すべし試驗期日は四月一日二日午前九時より ▲全州公立農業學校にては本年四月第一學年に入學せしむべき內地人及び朝鮮人生徒を募集せるが出願期日は三月三十一日限りにして試驗期日は四月四日より同六日に至る三日間同校に於て午前八時より ▲群山公立農業學校第一學年生徒朝鮮人四十名內地人十名を募集、出願期日は三月三十日迄にして學校長の認可したる入學願書を提出すべく試驗期日は四月四日より六日迄每日午前九時より本校に於て施行 ▲大邱公立農業學校第一學年生徒鮮人五十五名、內地人二十五名を募集せり、三月十四日限り入學願書を提出し三月十五日午前九時より試驗執行の筈 ▲詳細は本月十二日附官報に就き承合せらるゝが便宜なり

◉田中氏

學務局編輯課長田中四郎氏は

◉三木試補令孃死去

總督府內務部屬兼事務試補三木惠一郎氏長女慶子は去る十二日死去せり

◉淨土宗開教院(本町三丁目)

十五日午後二時より釋迦如來涅槃會を營む吉村立善師の講話あり

きやうのきやう

趙重應子爵が大病で面會謝絶をした時のことである平素同胞の開發に熱心な子爵は夢現の間にも鮮人の前途が氣遣はれてならぬ▲そして子爵の病勢は益々募つて一時昏睡狀態にまで陷つたのであるが▲愈々と云ふ時には何か遺言して置ねばならぬと思ふと▲何だか一種の光明を認めた樣な氣がして頭腦が非常に明皙になり平素思つて居たことが歷々と成つてアリ/\と顯れて來た▲そこで筆を執つて紙に讀んで見たが手がブル/\顫うてどうしても字體が成さない▲流石氣丈の子爵も此時ばかりは病には勝てぬわいと思つたと言つて居る▲その夢中に出來た一副とは『此生無慳一無成。願爲生度衆生。最念鮮人味大愛。成須努勝文明』と云ふのであるが▲之を見ても子爵が如何に同胞の教に熱心なるかが分るであらう。

商業登記公告

株式會社漢城銀行監查役全用與八任期滿了ニ付重任シタリ
大正七年二月八日登記
京城電氣株式會社取締役大橋新太郎、白石直治、山口太兵衛、伊藤幹一、下郷傳平ハ任期滿了ニ付大正七年一月二十九日重任シタリ
左記ノ者取締役ニ當選ス
朝鮮化學製藥株式會社ハ本店ヲ京城府南大門通五丁目百參拾貳番地ニ移轉シタリ
山水產株式會社取締役水野源藏、田又藏、野吉、監査役山本源吉ハ任期滿了
大正七年貳月八日登記
商號 新綜布貿易商 安盛商店、營業所 京城府南大門通貳丁目百拾九番地 使用者ノ氏名住所 同所 安盛孫兵衞
大正七年貳月拾貳日登記
京城地方法院

勸業債券 高價即金買入 相場表は申越次第進呈
釜山草梁第二區 岩井商店 電話壹貳六番

軍隊拂下品販賣
▲皮服、外套、毛布、防寒襦袢、袴下、手袋、靴下類一切
▲特製品實用向、ズボン、コツチ、紐へ、婦人コート、詰襟洋服、改造品特に勉强仕候

▲新古洋服類一切 ▲中古品洋服類多數取揃有之候 ▲可成貴意を得度く御注文奉願上候
京城本町一丁目 ▲南山元町 金子商店 電話長二〇五番

第貳拾參期決算 貸借對照表

資産之部	
未拂込資本金	[illegible]
諸貸出金	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
本支店間未達勘定	[illegible]
有價證券	[illegible]
營業用地所建物及什器	[illegible]
抵當質物流込物件	[illegible]
假拂金	[illegible]
預ケ金及現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部	
資本金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
諸預金	[illegible]
支拂送金爲替	[illegible]
借入金	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定
金貳萬貳百五拾參圓八拾八錢 當期純益金及前期繰越金
此配當計算ハ左ノ如シ
金六千五百圓 株主配當金(年四分)
金五千圓 諸積立金
金壹千貳百圓 役員賞與金
金七千五百五拾參圓八拾八錢 後期繰越金
右之通ニ候也
大正七年一月
株式會社韓一銀行
頭取 子爵 閔泳徽
取締役 趙秉澤
取締役 金漢奎
取締役 子爵 李容稙
前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也
監査役 崔鎭
監査役 沈相翊

りん病七日藥 日本專賣有權
淋病は如何なる重症も治る奇藥也
東京神田今川小路 大阪 山口

古著古洋服 高價買入 ハガキにて御報次第參上
京城本町二丁目 江頭衣服店 本店 電話九二三五番 支店 電話一七番

質 大塚質店 京城明治町二丁目 電話一八四九
◎戰慄すべき火災の時に於ても◎多額の融通

京日案內
普通五十錢 一回

古本高價買受 御報參上 明治町通 野村書店 電話二〇五〇番 363

新聞配達人募集 381
社員招聘 支局長募集 382

社員招聘 379
店員入用 378

乳母入用 京城電話九九一番 375

車輪板ロクロー 各種雜木類 本明雜木店 355

恩給立替 西村商會 35
恩給年金立替 國江商會 36

鑛物各種分析 田部分析所 232

外事社員採用 大同生命

支社募集 乳母入用 京城電話六八〇番 385

日活特約 大正館 電話八七三
二月十五日より特別優秀大寫眞
第三回 鐵の爪 全三十二卷內 第五、六卷
滿都の人氣は愈々沸騰せり 世界的連續冒險大活劇
物凄く天空に摩する高塔頂上の大格鬪危機一髮に迫る時微かに聞ゆるプロペラーの響諸氏の胸は躍り頬は熱し來るべし
舊劇 目玉松之助 仁王長五郎 三卷
新派 藤 四卷

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 院長 酒井一郎 電話一八番

誠實なる製品之れ安全第一
消化新藥 柏木ギアスターゼ

御料理仕出し 親子丼 京城南大門集會所隣 福島屋 電話一五七四番

八千代すき油 むんび 本舖 京 井善 製 支店 大阪 森源之助 電話一八七八番

內科 小兒科 京城府明治町二丁目 電話二七八番 中島醫院 入院隨意 院主 中島貞信

櫻御殿

第百五十一回　大阪　霞の家主人

朧月（八）

『狂人立ち去れ』

利右衛門は堪り兼ねて大喝した、桐島は口を噤む、然し、恨めしさうな目が光つた

『お父さまをお父さまと呼ぶが何故惡いか、思ひ掛けぬ處で邂逅うて、懐しさに聲を掛けるが何故狂人か、わたしがこゝで拜んで居るのも、一には父さまに災難がないようとお祈み申して居るのでござんす、それをお情無い、今のお言葉は何といふ事でございます』

を口には出さねが悔み思ふ

分らぬので

『さあ、何うでございませうか』と詞を濁す、利右衛門は白刃の上に立つて居る如な危さを感じながら

『これさ、狂人に道を尋ねる奴があらうかさ』と袖を引いて『惡いことは申さない、桜本までお越し召さ』

『さらば彼の女を同道致さう』

助左衛門は桐島と利右衛門との間に、一縷の紐の繋がれて居る事を氣付かずに居なかつた、利右衛門が強て狂人扱ひにする女が、果して桐島に相違なくば、その手に初瀬が伴はれて居るは無論である

い、それより急がうぢやござらぬか、其處に町も見ゑて居る』

利右衛門は前頭を急ぐ、こゝに桐島がうろつき居るは、此のあたりに不幸な女人の居るのも知れる、助左衛門を同道して前へ進まば、相手の女は後になつて、無惨の刃を免れることが爲きるであらう、助左衛門の意地はさることながら弱い女を刃に掛けるには忍びぬ、この心があるので、兎も角ここを通り抜けたいと祈り念ずる、それが桐島には分らなかつた

『まあさ、お手前の様に、無慈悲な事を云ふ者があるぢやござらぬわさ』と助左衛門は怪しい目で桐島を見て『和御寮は何處ぢや』

桐島は默つて居た

『好い處へ伴れて進ぜる、打ち開けて云はうぞよ』

利右衛門は此方から『何も云ふな〳〵』と目顔で知らせる

して

助左衛門は兇据ゑて居た目を離し

『もう暮れさうぢや、兎も角参らう、ぢやが桜本へは参られぬぞ』と云つた

『何故でござるな』

『ちと思ふ仔細もある、麓の村で一宿致さう』

詞の様子が、二人の心を讀み了せたように思へた、利右衛門はそれを恐れた

『麓といふても片田舎ぢや、旅籠とてはあるまい、やはり桜本まで参らう』

助左衛門は頭を掉る

『旅籠でなくば泊ること協はぬか百姓家を賴んでも事は了む』と云つて桐島に目をつけて『のう、其處の女中』

桐島は悄れた目で、二人の様子を見て居たが、何う云つて好いかと推量る、同時に利右衛門が桜本まで伸さうと強る詞の裏にも不審があつた

『何んぢや、女を……？狂人を……？』

『おゝ、同伴する、見た處、無下に卑しい者でもない、和歌山あたりの家中の娘、心亂れて此の邊を呻吟ひ居るに極つた、捨て置くも不便ぢや、宿へ同道、一伍一什を問ひ糺し、時宜に由らば宿元へ送り届けたい、旅は道伴、斯う行き合せて、お手前に聲を掛けたも、世からの因緣でござらうぞ』と云ひ捨てゝつか〳〵側へ寄る

桐島は夢のやうに立つて居た

『お止めなされ〳〵、何處の馬骨とも知れぬ女を、宿へ伴ひ、恥辱を見ては名折れぢや、馬鹿と狂人は人間の中ぢやない、詰らぬ事に取り合ひ、手間取つてはなるま

洋料理　すき焼　おいしい京城第一との高評を博し居り候　電話二五七一番　カフエータイガー

日報俳壇

■オンドル會詠草（平選）（一）

千鳥

千鳥啼けば半天の闇に光る星　清流壁
浪濱の戸荒びに鳴く千鳥哉　雪屋
海に鋼く濱砂河原や千鳥鳴く　同
千鳥啼くや戸に曉天の波白し　同
荒浪に消え殘りたる千鳥哉　白天
枕抱いて郷愁とはの小夜千鳥　同
漁火消えて沖は千鳥の闇夜哉　弓山
繼小船の灯影悲しむ千鳥哉　同
夕焼の滋に消ねる千鳥哉　同
千鳥鳴く礁淋しめり喫し且　隈山
千鳥鳴くや月聞き沖のかゝり舟　孤鶴
紙燭して離れて往く川千鳥　同
地曳網見て憩ふ岩や蜑千鳥　芸窓
粗朶負ひ牛追ふ聲や夕千鳥　小嵐山
千鳥鳴く闇にまた港の灯　鴉原
雪に船の灯しや鳴く千鳥　同
夕日殘る浪先、寒し鳴く千鳥　城山
炭竈に群れて來鳴くや磯千鳥　同
鋼の値に驚く市を鳴く千鳥　兎園
歸帆追ふ千鳥に海は夕焼けて　同
次日が訪ます此日鳴千鳥　同
千鳥啼きて物戀し夜の舟の上　小猿
夜を彩る廓の灯しや鳴く千鳥　櫻水
舒い灯鈍う漂ふ千鳥かな　同
灯し連ねる港の船鳴く千鳥　竹外

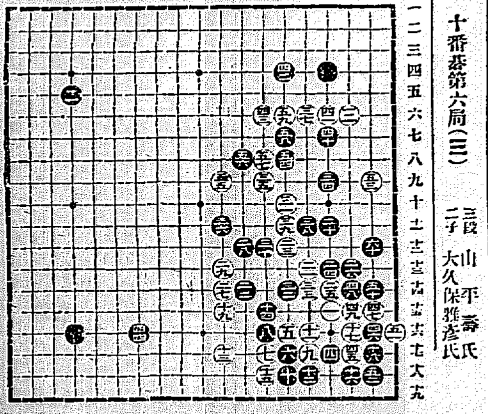
ふる集の歸る洲尻、飛ぶ千鳥　同
船と家、灯を繼ぐ浪に鳴く千鳥　芳宙
千鳥啼く艶なる宿の衣桁哉　同
砂に喰ひ入るヤナブルの音や昔千鳥　同

碁戰

十番碁第六局（三）

三段　山平壽氏
二子　大久保雅彦氏

○四一　ニの六
●四二　への四
○四三　トの六
●四四　ワの十六
○四五　ハの十七
●四六　リの十六
○四七　ロの十五
●四八　ハの十四
○四九　ハの十五
●五〇　ロの十四
○五一　イの十六
●五二　ヌの十八
○五三　ロの九
●五四　への八
○五五　リの九
●五六　チの八
○五七　トの八
●五八　への七
○五九　への六
●六〇　ロの十二



新刊紹介（到着順）

▲寶生流解説備考本（わんや書店著）謡の本文は謡ひ方通り總振假名付讀み易く、字句に對し鈴木文學士の精緻なる註解あり謡方觀念に就ては寶生宗家、松本、野口兩大家の聞せる講義を附し拍子當りの説明は山崎樂堂氏の執筆に成るもの實に良參考書なり且つ同狂言の全文を加へて一曲の完全を期せるは斬界の珍とするに足らん（十五錢東京日本橋わんや）

▲寶生流旅之友（第一第二兩卷）寶生流の完備せる謡本にして旅行携帶に便なる著褒半紙形にて各卷部八卷より成る謡の上達は精密なる本を有するにあり、兩卷以下は來る七月迄に完成の由し（三圓八十錢東京日本橋わんや）

▲寶生流五番綴謡本　全部五十卷にして中本通りの精確なる版に改正せるもの一箇月六冊宛を配布し全部七回四十二冊を以て七月中に完成の由（上製三圓八十錢東京日本橋わんや）

▲喜多流謡曲大成　喜多流の謡曲本にて全部四卷より成り二百番を網めたる書なり節附の正確緻密なる點に於て中本の上にあるは同流人士のため幸福と云ふべきか（一冊三圓二十錢東京日本橋わんや）

▲實業法律（二月號）內容益々充實面白い新議論相殺と讓渡判決差押へと優先權外數十學說判例あり（一箇年分七十錢東京市麹町區紀尾井町三其社）

讀者の分

無學生に答ふ、モンド瓦斯とは先づ簡單に言へば幾分水氣を含有して居る一種の瓦斯で動力或は熱用に使用されるものである而して其の副產物としてはアンモニアを生ずるものだ此のモンド瓦斯のモンドとは元來鈴木主水の如くアングロ=ジアーマンの化學者の名前に過ぬ移つて『モンド瓦斯』とは單にアングロ=ジアーマン間のみならず今では世界的化學名稱として一般に通用する言葉となつて居るのである（編輯局）▲小說『どうして』のお神さんが內の人や子供の足は剃刀だわは出來ました全く足袋をはかせれば剃刀だし下駄をはかせれば剪刀ですわ、金の鼻緒や足袋がなけりや此物價騰貴にとてもやりきれたものぢやない、あゝあゝ（貧乏女）

洋書展覽會

會場　梅の家（京城ホテル裏　元千代本跡）
日時　自二月十六日　至同十八日　三日間
黑木華堂

子宮病血の道とリウマチスに悩む人は　神疝湯

彼是迷ふこと無く

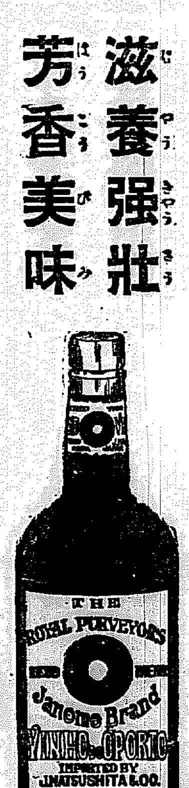
最も能く効く良藥神疝湯を試みよ現に百方手を盡すも効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、歎年難治の子宮病を始め悶族の疝氣リウマチス神經痛の方々が神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂には全ツカリ快癒し嬉しさの餘り懇篤な禮狀（現在保存一般の閲覽に供す）を送らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症ご重症の論なく御試用あれ神疝湯は家方の良藥にして今や全國名藥店にあり

本劑は　せんき　リウマチス　神經痛　及　子宮　血の道　ヒステリー　慢性　胃腸　に殊く効を奏す

●こんな徴候
腰、腹、手、足、肩、背、腰、膝、等の痛み、しびれ又は筋張り痛み、移動し、何處となく腹が差込み、溜飲、頭痛、耳鳴、眩暈、逆上、血眼、寒氣、肩凝り、頭重く、胃痛、冷え、夜眠られず、根氣薄らぎ、記憶あしく、物事に感じ易く、顔手足の浮腫、婦人病、血の道、ウマチス、神經痛、腰より起る徴候に惱む人は此神疝湯を試みよ

價　藥
十日分　半週　三週　用分

名古屋市東區京町二丁目
本舖　發賣　問屋　荒川長太郎商店
電話　本局　振替　東京　口座　大阪



登錄商標

滋養强壯　芳香美味

蛇の目印　ポートワイン

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絕好の理想的滋養强壯飮料なり

（現品縮寫圖）

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標●蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元　洋酒　煉乳　食料品　家庭藥　鑵詰　雜貨　直輸出入商

大阪市東區高麗橋貳丁目
松下善四郎
電話本局　一八五　長一八六　長八二〇
電信略號　マツセ　振替口座大阪　一六

ナアーニ　かぜ　ねつ　我ニ　ハカリ印のヘブリン丸アリダ

本舖　大阪　合資會社　参天堂藥房

職業

壹圓　日收　特約店募集

品質優美　一切貸與　女子自宅に出來男子年中無休　熱心誠實な方に　永久賣捌の契約　説明書郵券八錢送れ　大阪北區鶴島中二丁目電停前　一葉商會本店

淋病新藥　ツヨール

故下山藥學博士、岩川醫學博士、加藤獨逸醫學士、山田獨國醫學士等の實驗、田中醫學博士、慶松藥學博士、朝比奈藥學博士の檢定の結果理想的內服淋病藥ご確定せる

▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、前立腺炎、副睾丸炎、淋毒性急性慢性其他一般淋病に偉効を奏す

百粒入壹圓八拾錢　五拾粒入九拾五錢　三十粒入六拾錢

●說明書無料贈呈す　製造元東京市日本橋　ツヨール商會　▲發賣元大阪道修町　田邊五兵衛　振替大阪八六七番

日本郵船仁川出帆

○大連行、秦皇島行　相模丸　二月十九日　三河丸　二月廿十日　高砂丸　二月廿八日　正午出
仁川港埠頭十一丁目　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

下之關大阪直行　秀吉丸　二月十五日後四時出
群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行　大有丸　二月十九日後四時出
君代丸　二月二十日後四時出
神代丸　二月二十四日後四時出
仁川海岸通三丁目十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波、大連行　共同丸　二月十六日午前入港　二月十六日後四時出
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
野口商會
仁川代理店　元山代理店　京城取扱店　田口回漕部　河村運送店

釜山出帆廣告

汽船　門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　一月　日後五時出
立神丸　二月　日後五時出
元山、淸津、浦鹽行　和歌浦丸　日後十時出
立神丸　二月　日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　二月廿二日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　三月四日後六時出
本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

りん病ばい毒　注意

近來東京其他各地に偽ドラッグの藥を販賣し効なき故ドラッグ商會の藥は本物の外は御注意

詐欺漢なり

京城龍山等各地に僞物有御注意

本舖　花柳病專門藥房　東京南大門外停車場通　ドラッグ商會　大阪金町三電車通大阪ドラッグ商會

大阪屋號書店

最新刊

來行一寸法師　香川　九〇
ドン底生活　村島歸之　一、二〇
浸畫巡禮記　岡本一平　九〇
こほろぎと象　落合太郎　七五
紅葉句集　久保輝三　一、二〇
鳥杉東行詩文集　宇田信吉　八〇
日蓮主義の爲に　一、二〇
七色珊瑚（詩集）　小杉天外　一、三〇
名士の學生時代　河野二郎　六五
教育の米國　吉田熊次　一、三〇
千圓以下で出來る理想の住宅　一、五〇
朝鮮の寒と防寒法　矢野　三五
簡易生活の實例　西村文則　九〇
銀行の實務と會計　一、六五
袖珍英和辭典　神田乃武、金澤久　八五
鑑定大斜定石法　一、八〇
朝鮮各中等學校入學試驗問題答案集　五
最近朝鮮稅令集　七五
朝鮮地誌（上）　一、五〇

下關期米

大阪株式

一六五、九〇
一九二、七〇

一大阪商報米著にて中二十一圓六十錢平均値段六十二錢
二三錢先二十一圓八十六錢と二錢高